

平成 24 年度 教員の意識調査 結果

香川県教育委員会事務局義務教育課

- 1 調査目的 学習指導や生徒指導等に関する教員の意識を把握し、指導方法の工夫・改善に役立てる。
- 2 回収日 平成 24 年 8 月 7 日（東部教育事務所管内）
平成 24 年 8 月 8 日（西部教育事務所管内）
- 3 調査対象 小・中学校教員 1555 名（全小・中学校教員の 33.4%）
小学校 959 名（全小学校教員の 33.0%）
中学校 596 名（全中学校教員の 34.1%）
※平成 24 年 5 月 1 日現在の数値に対する割合
- | | | |
|---------------|-------|--------------|
| 50 歳以上 | 678 名 | （全回答の 43.6%） |
| 40 歳以上 49 歳以下 | 472 名 | （全回答の 30.4%） |
| 30 歳以上 39 歳以下 | 246 名 | （全回答の 15.8%） |
| 29 歳以下 | 157 名 | （全回答の 10.1%） |
| 年齢不明 | 2 名 | （全回答の 0.1%） |

内容一覧

- 1 学習指導や生徒指導等に関わること
- | | |
|---|------|
| (1) 「責任感と危機感を持って取り組む 4 つの Action 子どもに確かな学力を！」に関するもの | P 2 |
| (2) 「さぬきの教員 かかわりの三訓」に関するもの | P 10 |
| (3) 全質問調査結果（小・中学校） | P 14 |
| (4) 全質問調査結果（小学校） | P 16 |
| (5) 全質問調査結果（中学校） | P 18 |
| (6) 年齢別、小・中学校別クロス集計 | P 20 |
| (7) 回答率に特徴が見られるもの | P 30 |
- 2 指導力向上に関わること（年齢別、小・中学校別クロス集計） P 32
- 3 業務改善に関わること（年齢別、小・中学校別クロス集計） P 35
- 4 子どもの学ぶ姿勢を育む事業について P 36

※ 本調査結果中の平成 23 年度データは平成 23 年 8 月 3 日、4 日に回収した小・中学校教員 1600 名分のものである。なお、平成 23 年度と平成 24 年度の調査対象者は同一でない。

※ 本調査結果の分析では、1 または 2 を選択したものについて「積極的に」と表現している。

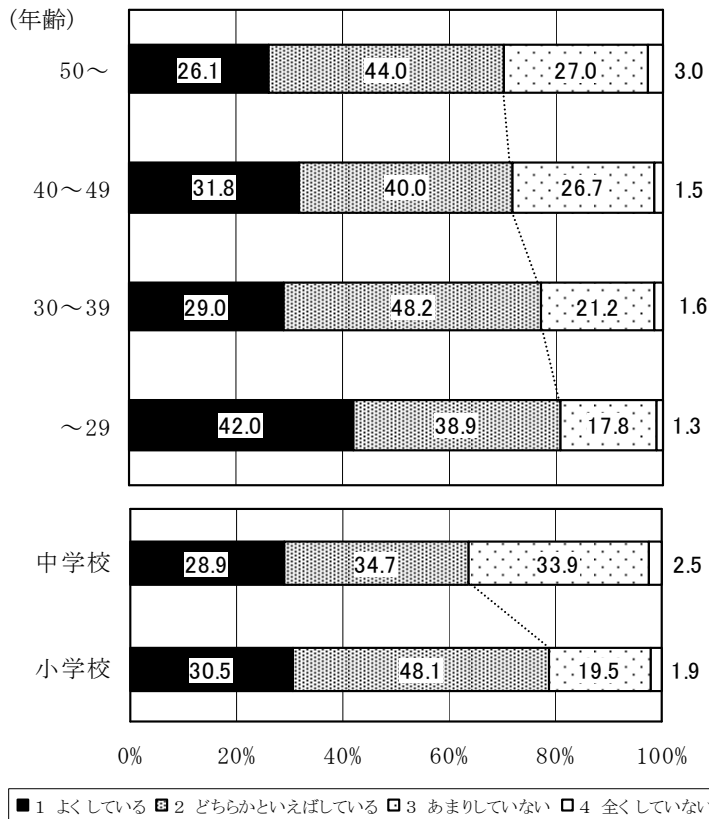
1 学習指導や生徒指導等に関わること

(1) 「責任感と危機感を持って取り組む4つのAction子どもに確かな学力を！」に関するもの

Action1 思考力・判断力・表現力等を伸ばす指導

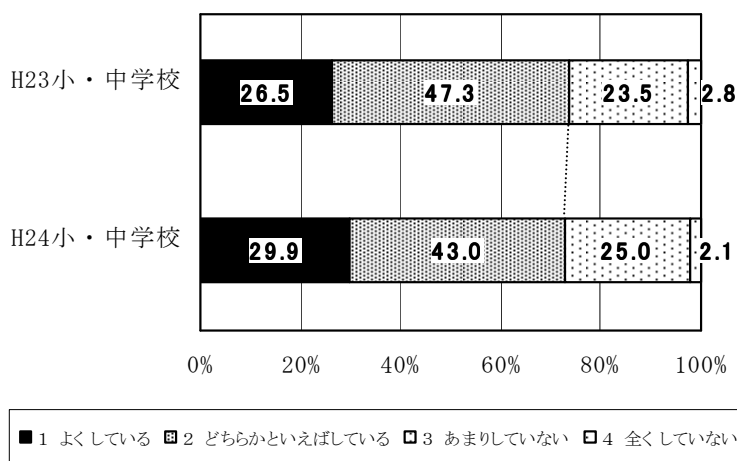
○ 授業中、ペア学習や班学習を積極的に取り入れている教員の割合は、年齢が低くなるほど高くなり、小学校が中学校よりも15.0ポイント高い。

授業中、ペア学習や班学習など、子ども同士が協力して取り組む活動を取り入れていますか。(8) A



○ 授業中、ペア学習や班学習を積極的に取り入れている教員の割合は、年度を問わず70%を超えている。

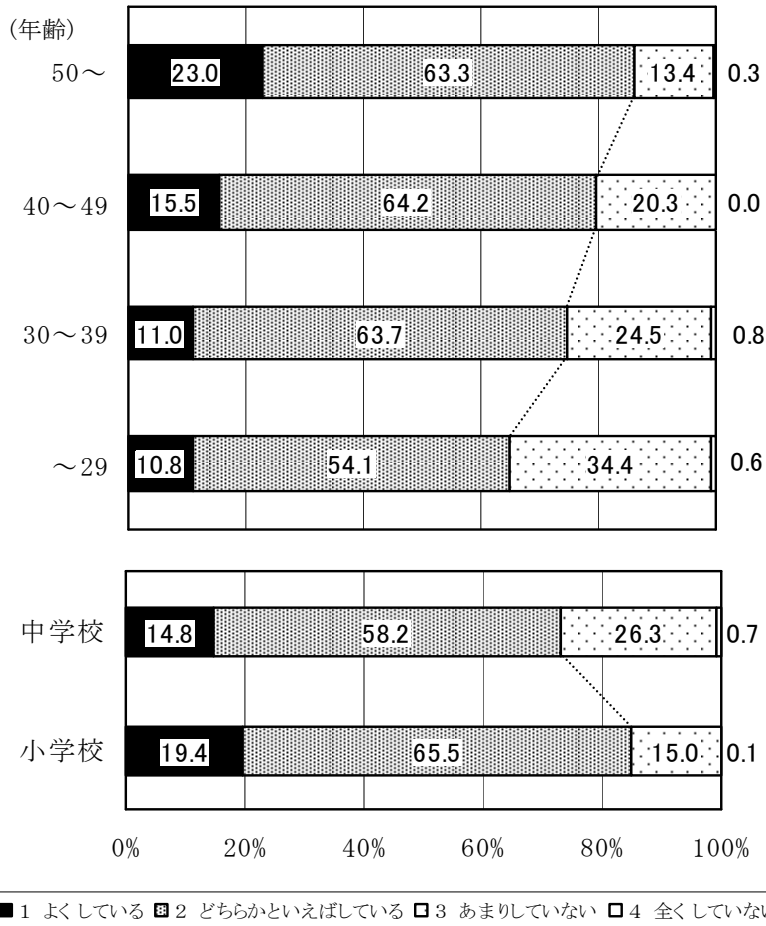
授業中、ペア学習や班学習など、子ども同士が協力して取り組む活動を取り入れていますか。(8) A



Action2 学習意欲向上のための指導

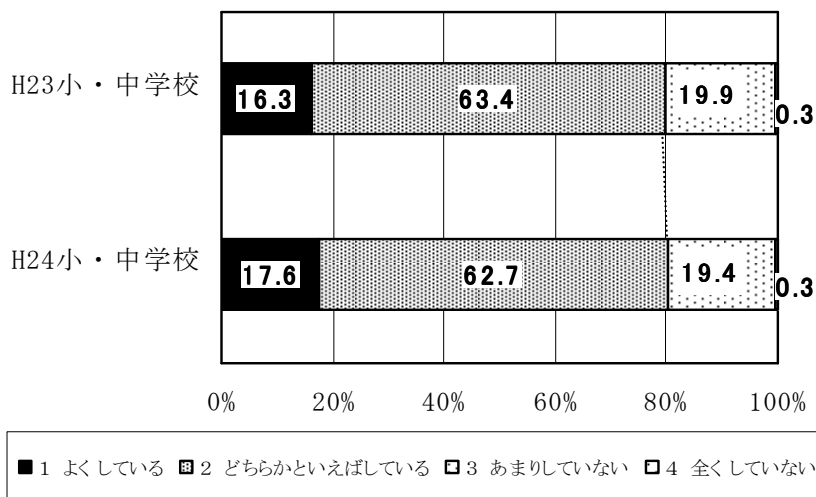
- 授業の中で子どもがやり遂げたよさを味わえる機会を積極的に増やしている教員の割合は、年齢が高くなるほど高くなり、小学校が中学校よりも11.9ポイント高い。

授業の中で、子どもが粘り強く課題に取り組み、やり遂げたよさを味わえる機会を増やしていますか。(6) A



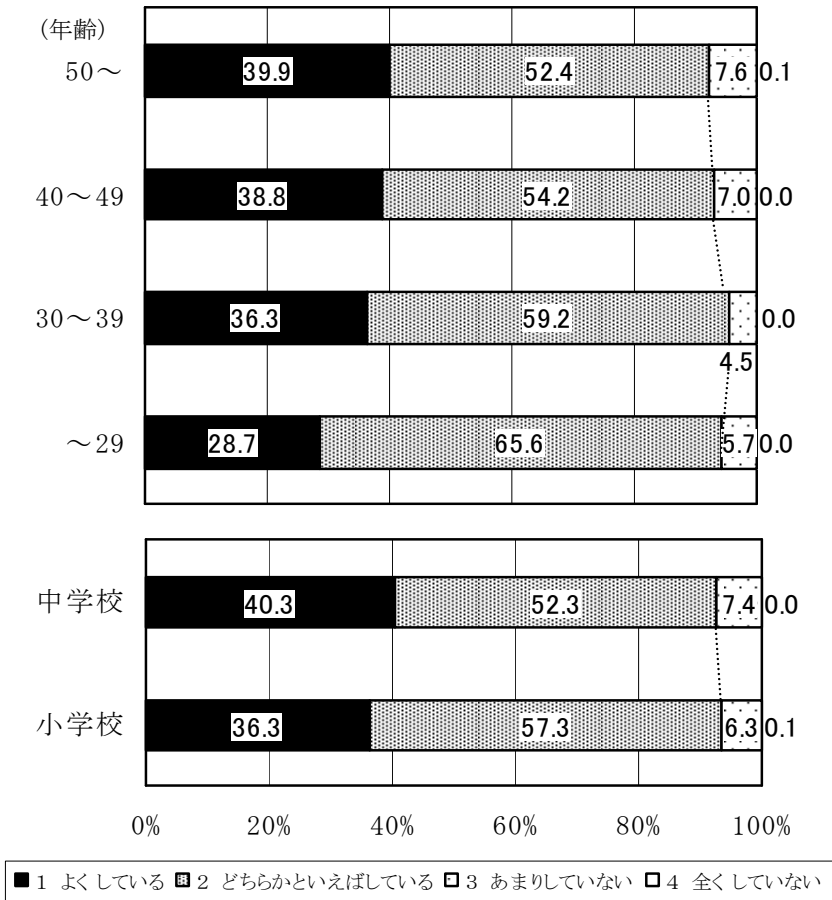
- 授業の中で子どもがやり遂げたよさを味わえる機会を積極的に増やしている教員の割合は、年度を問わず80%を超えている。

授業の中で、子どもが粘り強く課題に取り組み、やり遂げたよさを味わえる機会を増やしていますか。(6) A



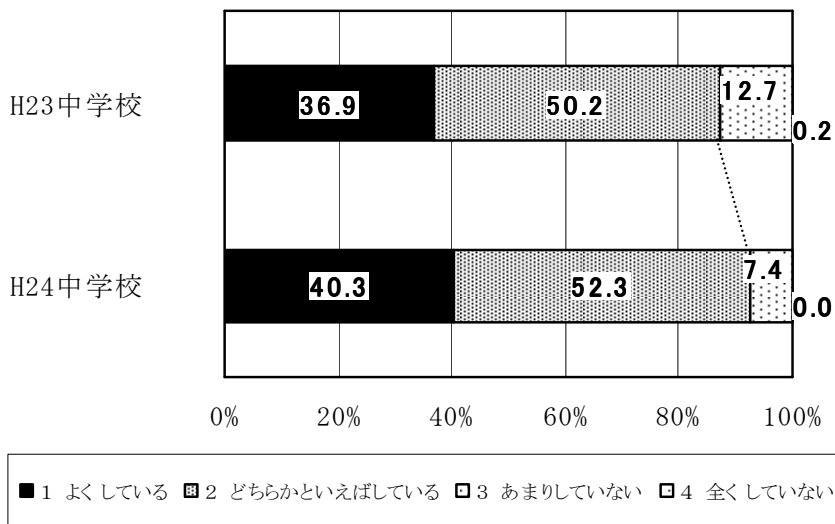
○ 課題やまとめを分かりやすく板書するよう積極的に工夫している教員の割合は、年齢や校種を問わず 90%を超えている。

課題やまとめをわかりやすく板書するよう工夫していますか。(5) A



○ 中学校では、課題やまとめを分かりやすく板書するよう積極的に工夫している教員の割合が、平成 23 年度に比べると 5.5 ポイント増え、90%を超えている。

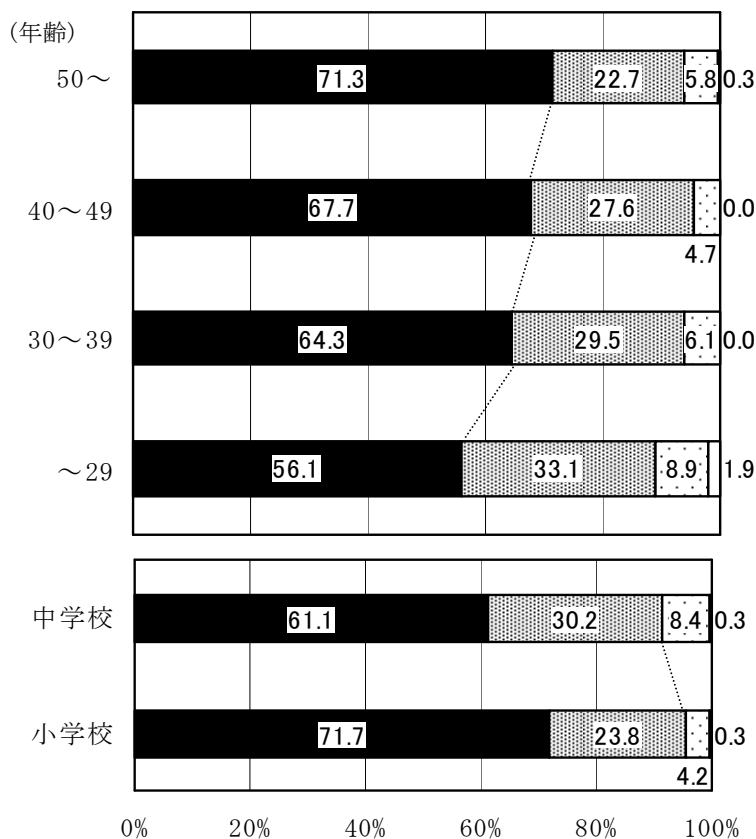
課題やまとめをわかりやすく板書するよう工夫していますか。(5) A



Action3 学習方法を身に付けるための指導

- テストなどで間違えた問題は必ず見直すよう積極的に指導している教員の割合は、年齢や校種を問わず90%程度である。

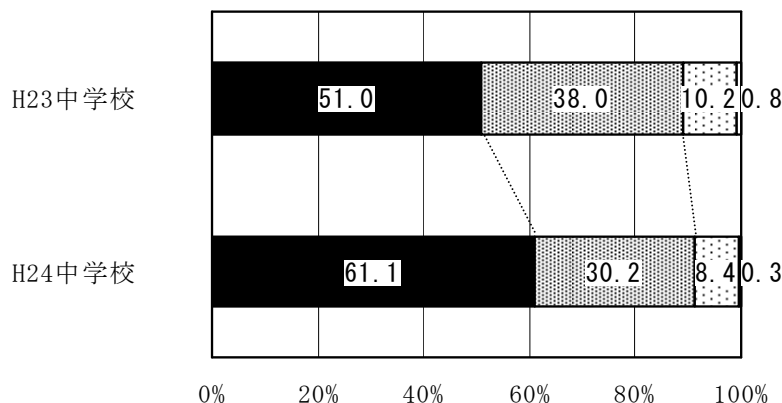
テストなどで間違えた問題は、必ず見直すよう指導をしていますか。(3) A



■ 1 よくしている ■ 2 どちらかといえばしている ■ 3 あまりしていない ■ 4 全くしていない

- 中学校では、テストなどで間違えた問題は必ず見直すよう積極的に指導している教員の割合が、年度を問わず90%程度であり、「よくしている」と回答した教員が10.1ポイント増えている。

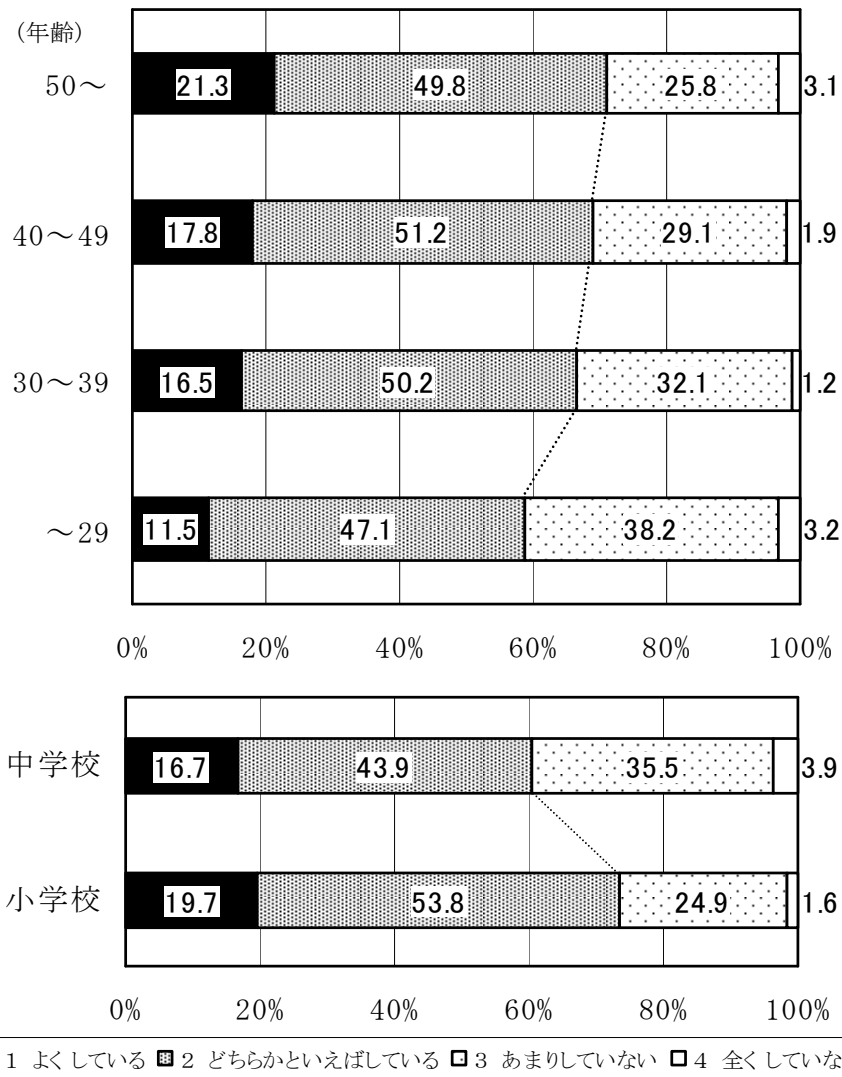
テストなどで間違えた問題は、必ず見直すよう指導をしていますか。(3) A



■ 1 よくしている ■ 2 どちらかといえばしている ■ 3 あまりしていない ■ 4 全くしていない

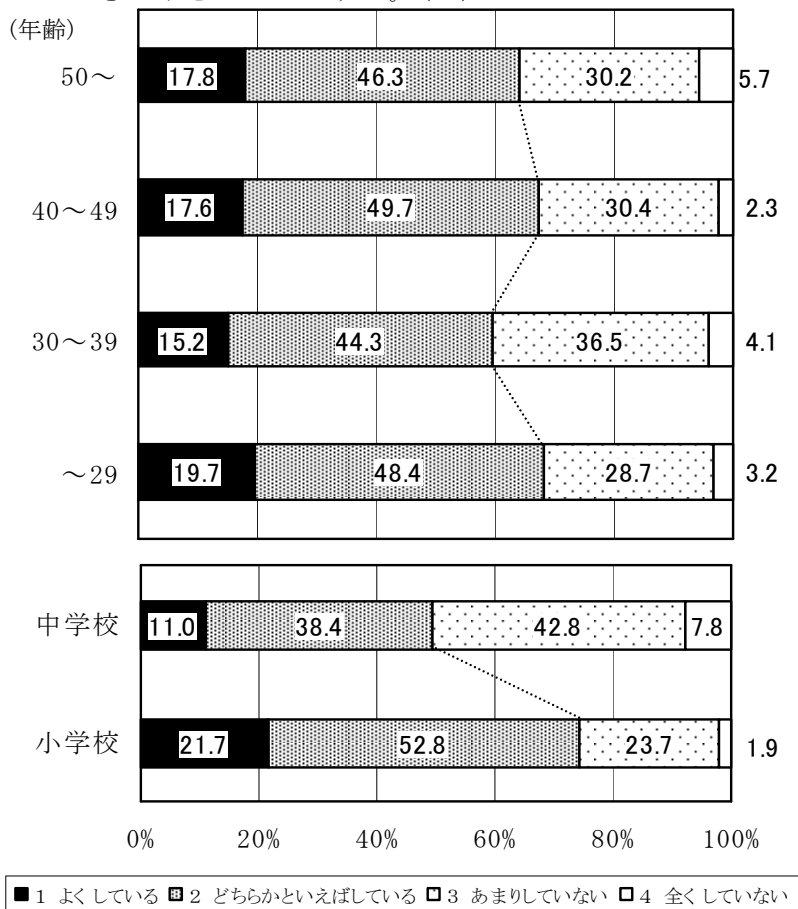
○ 家庭での学習に生かせるノートの書き方、まとめ方を積極的に指導している教員の割合は、年齢が高くなるほど高くなり、小学校が中学校よりも 12.9 ポイント高い。

家庭での学習に生かせるノートの書き方、まとめ方を具体的に指導していますか。(2) A



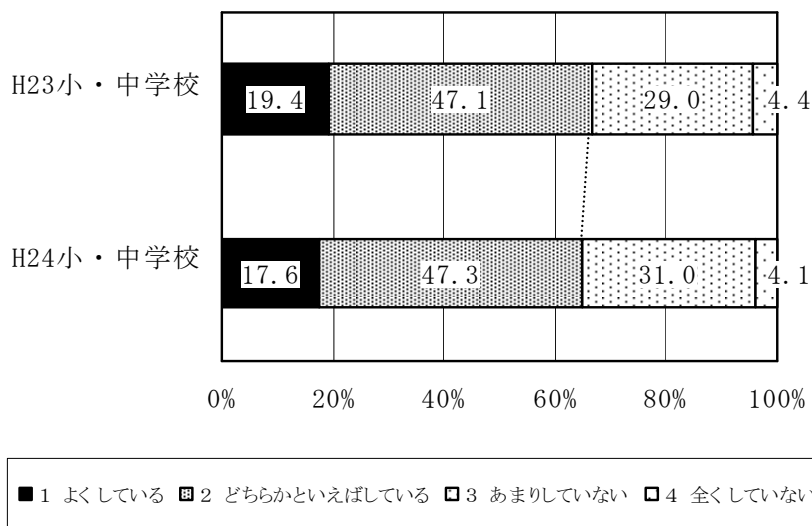
○ 保護者に対して児童生徒の家庭学習を促す働きかけを積極的にしている教員の割合は、年齢別の傾向は見られないが、小学校が中学校よりも 25.1 ポイント高い。

保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけをしていますか。(10) A



○ 保護者に対して児童生徒の家庭学習を促す働きかけを積極的にしている教員の割合は、年度を問わず 65%程度である。

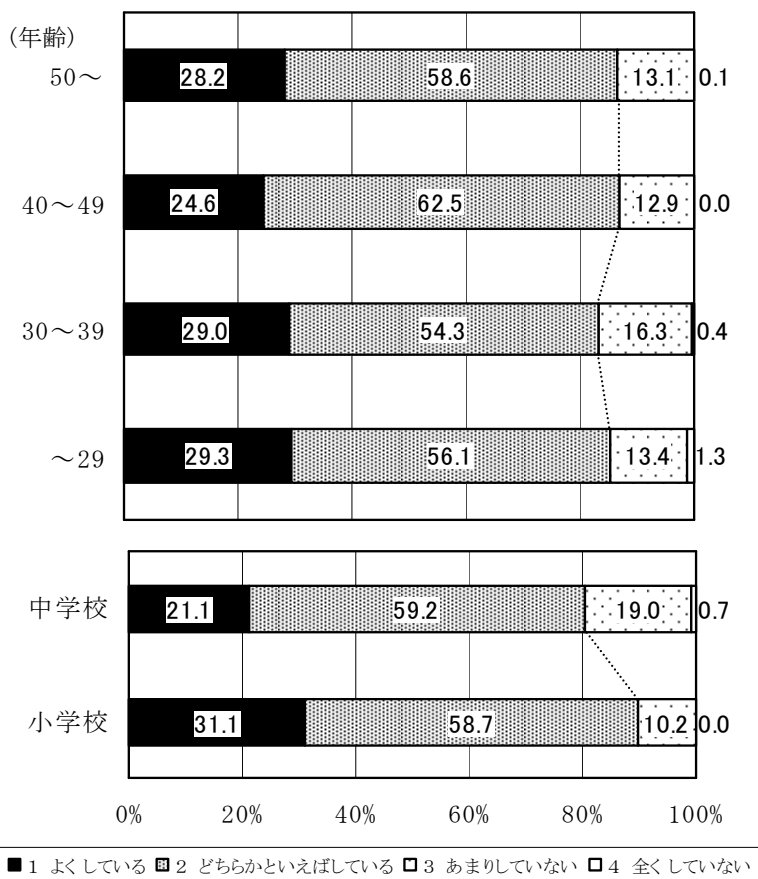
保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけをしていますか。(10) A



Action4 学習習慣形成のための指導

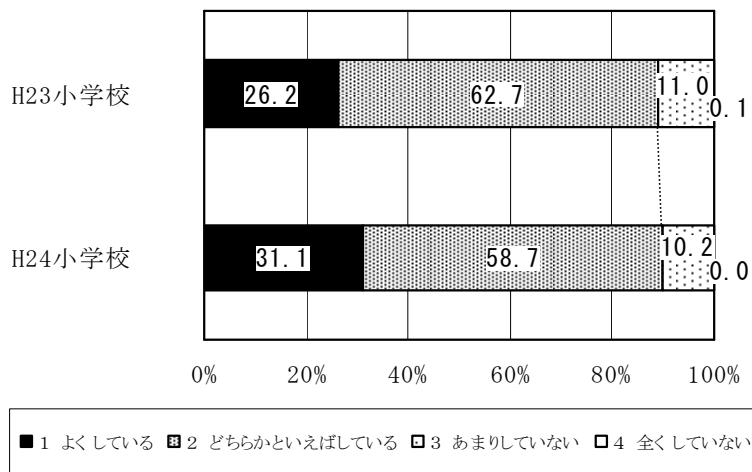
- 授業の中で、子どもが学習の見通しをもったり、振り返ったりする場を積極的に設けている教員の割合は、年齢や校種を問わず80%を超えている。

授業の中で、子どもが学習の見通しをもったり、振り返ったりする場を設けていますか。(7) A



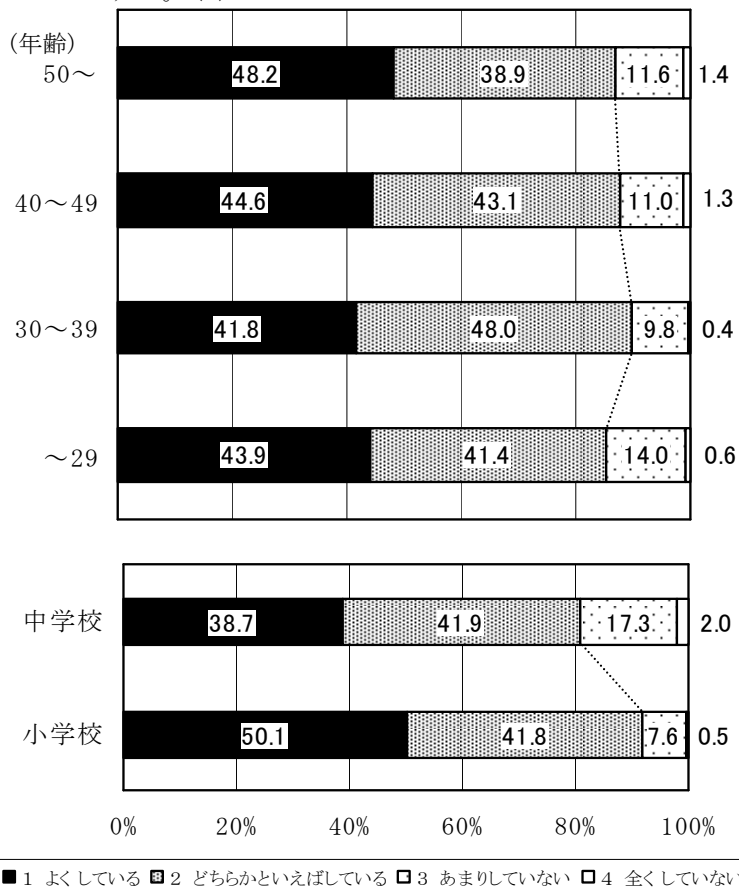
- 小学校では、授業の中で、子どもが学習の見通しをもったり、振り返ったりする場を積極的に設けている教員の割合が、年度を問わず90%程度である。

授業の中で、子どもが学習の見通しをもったり、振り返ったりする場を設けていますか。(7) A



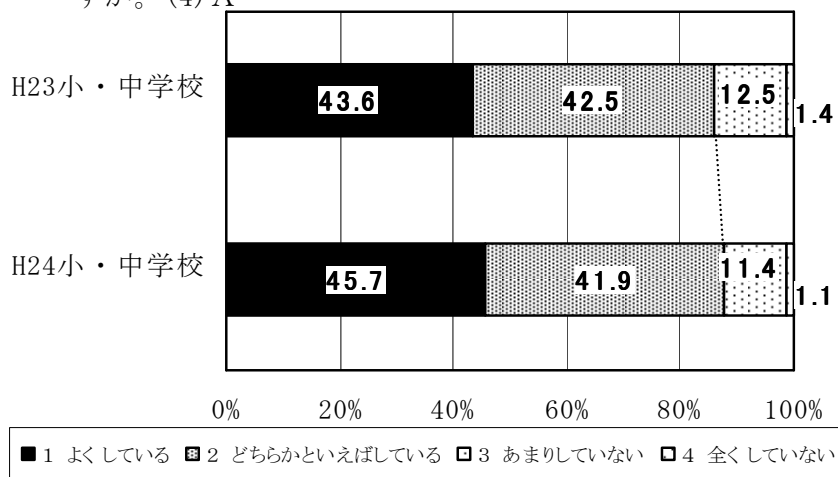
○ 宿題を工夫して出すとともに、点検・評価を積極的にしている教員の割合は、年齢や校種を問わず 80%を超えている。

宿題を工夫して出すとともに、点検・評価をしていますか。(4) A



○ 宿題を工夫して出すとともに、点検・評価を積極的にしている教員の割合は、年度を問わず 80%を超えている。

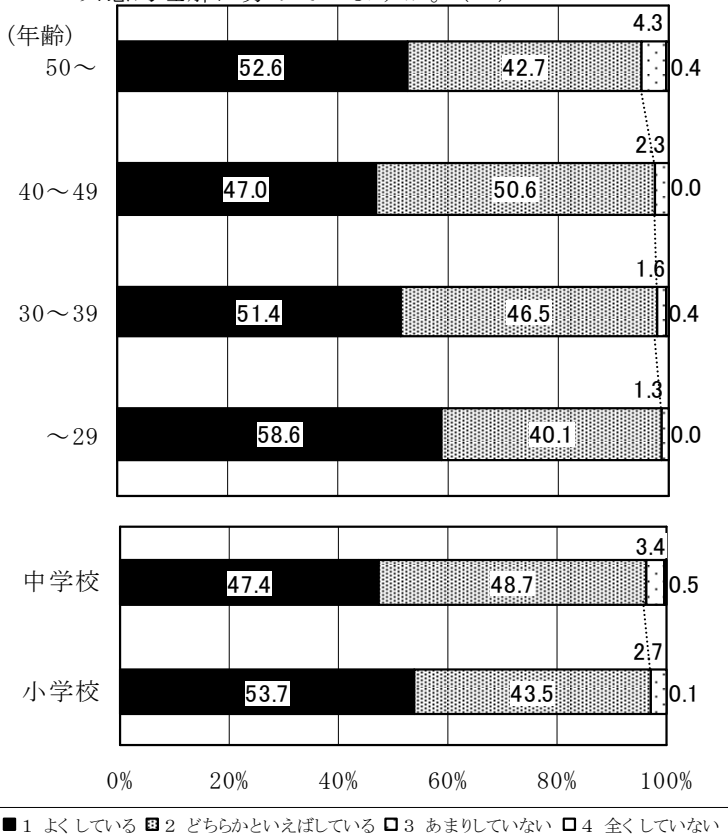
宿題を工夫して出すとともに、点検・評価をしていますか。(4) A



(2) 「さぬきの教員 かわりの三訓」に関するもの

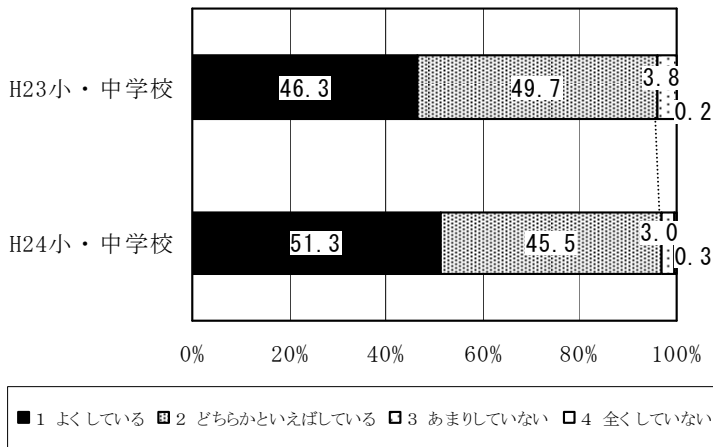
○ 子どもとの日頃の人間的なふれあいを大切にし、見守ることや声かけをすることで、一人一人の子どもの共感的理解に努めている教員の割合は、年齢、校種、年度を問わず、90%を超えている。

子どもとの日頃の人間的なふれあいを大切にし、見守ることや声かけをすることで、一人一人の子どもの共感的理解に努めていますか。(15) A



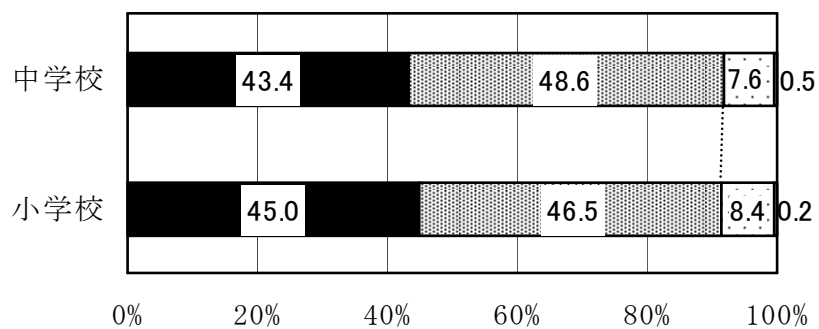
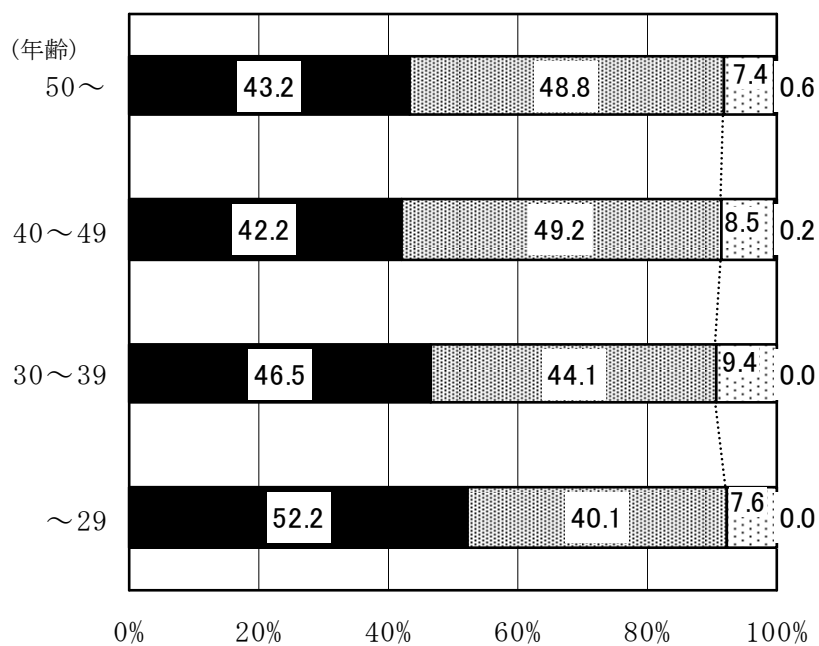
子どもとの日頃の人間的なふれあいを大切にし、観察することや声かけをすることで、一人一人の子どもの共感的理解に努めていますか。〈H23(18) A〉

子どもとの日頃の人間的なふれあいを大切にし、見守ることや声かけをすることで、一人一人の子どもの共感的理解に努めていますか。〈H24(15) A〉



○ 組織（チーム）で生徒指導に取り組んでいる教員の割合は、年齢や校種を問わず、90%を超えている。

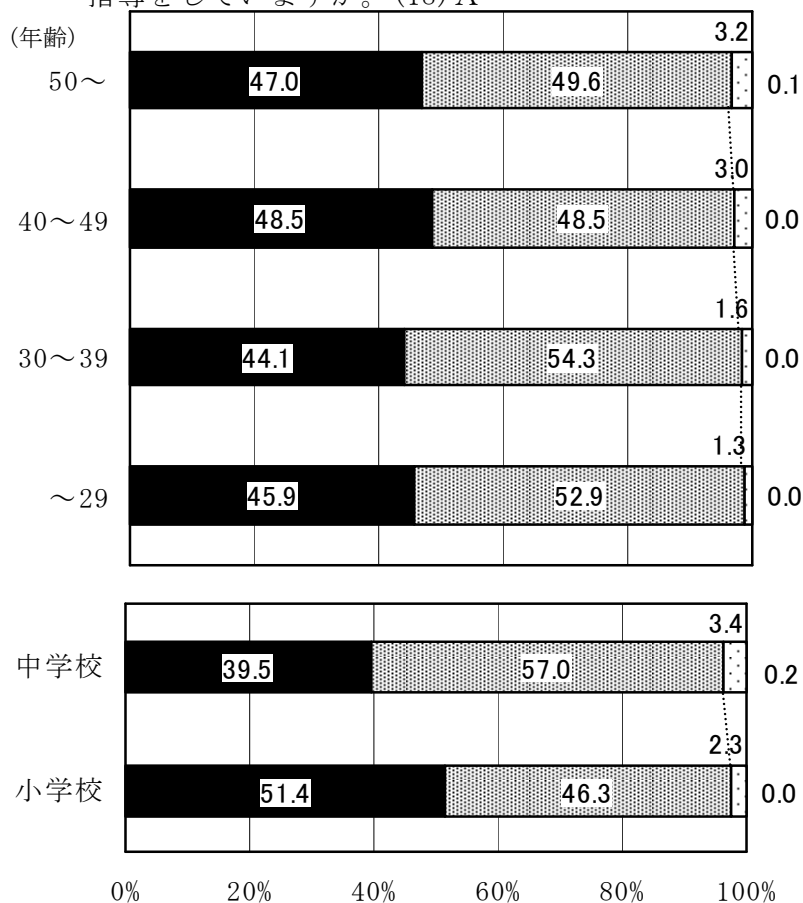
組織（チーム）で生徒指導に取り組んでいますか。(19) A



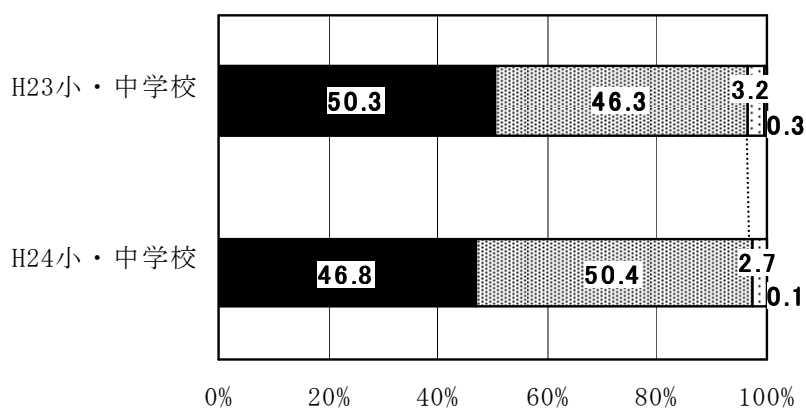
■ 1 よくしている ■ 2 どちらかといえばしている ■ 3 あまりしていない ■ 4 全くしていない

○ 学校生活における規範や社会生活上のルールを明確に示し、常に一定の基準をもとに毅然とした粘り強い指導をしている教員の割合は、年齢、校種、年度を問わず、90%を超えている。

学校生活における規範や社会生活上のルールを明確に示し、常に一定の基準をもとに毅然とした粘り強い指導をしていますか。(18) A



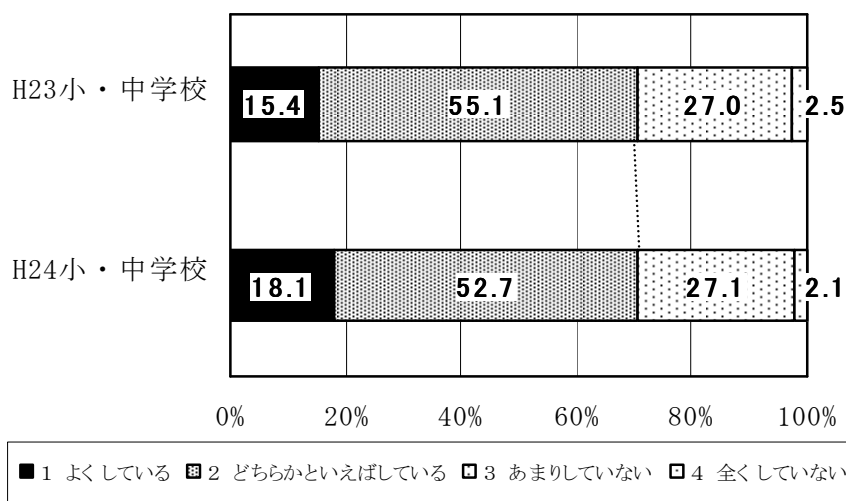
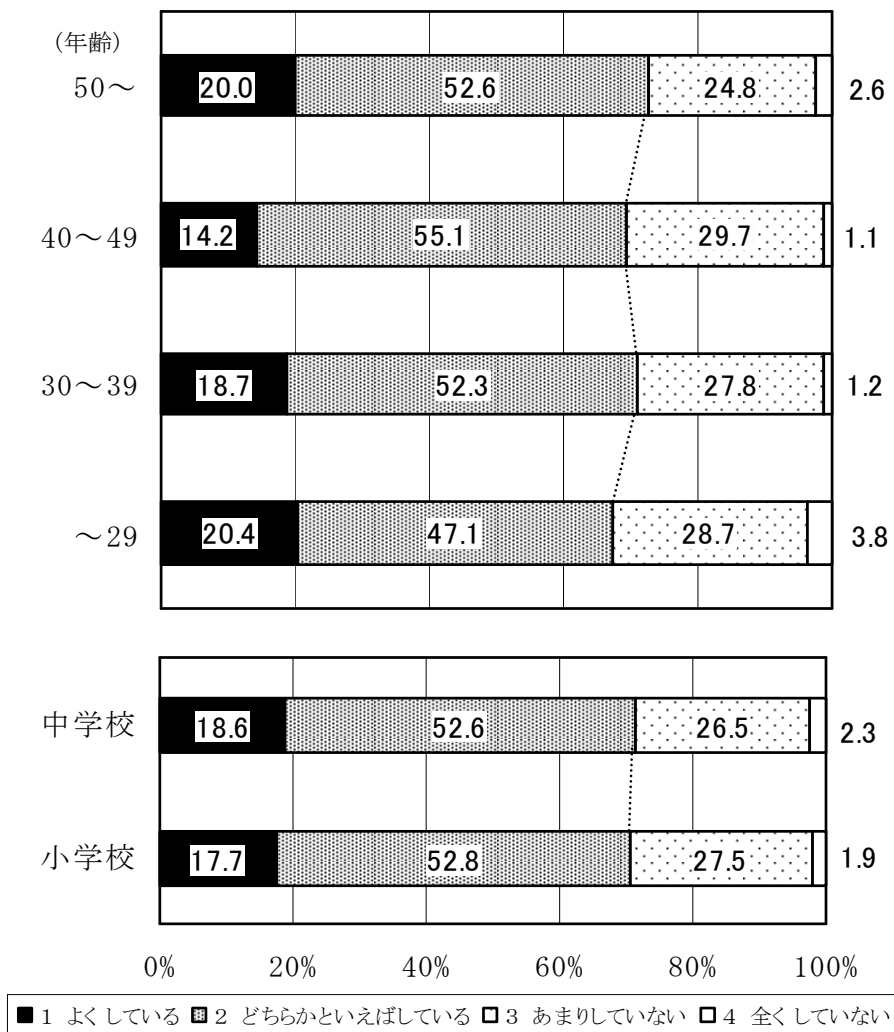
■ 1 よくしている ■ 2 どちらかといえばしている □ 3 あまりしていない □ 4 全くしていない



■ 1 よくしている ■ 2 どちらかといえばしている □ 3 あまりしていない □ 4 全くしていない

○ 特別活動の時間などで子どもが主体的に活動できる場を設けている教員の割合は、年齢、校種、年度を問わず、70%程度である。

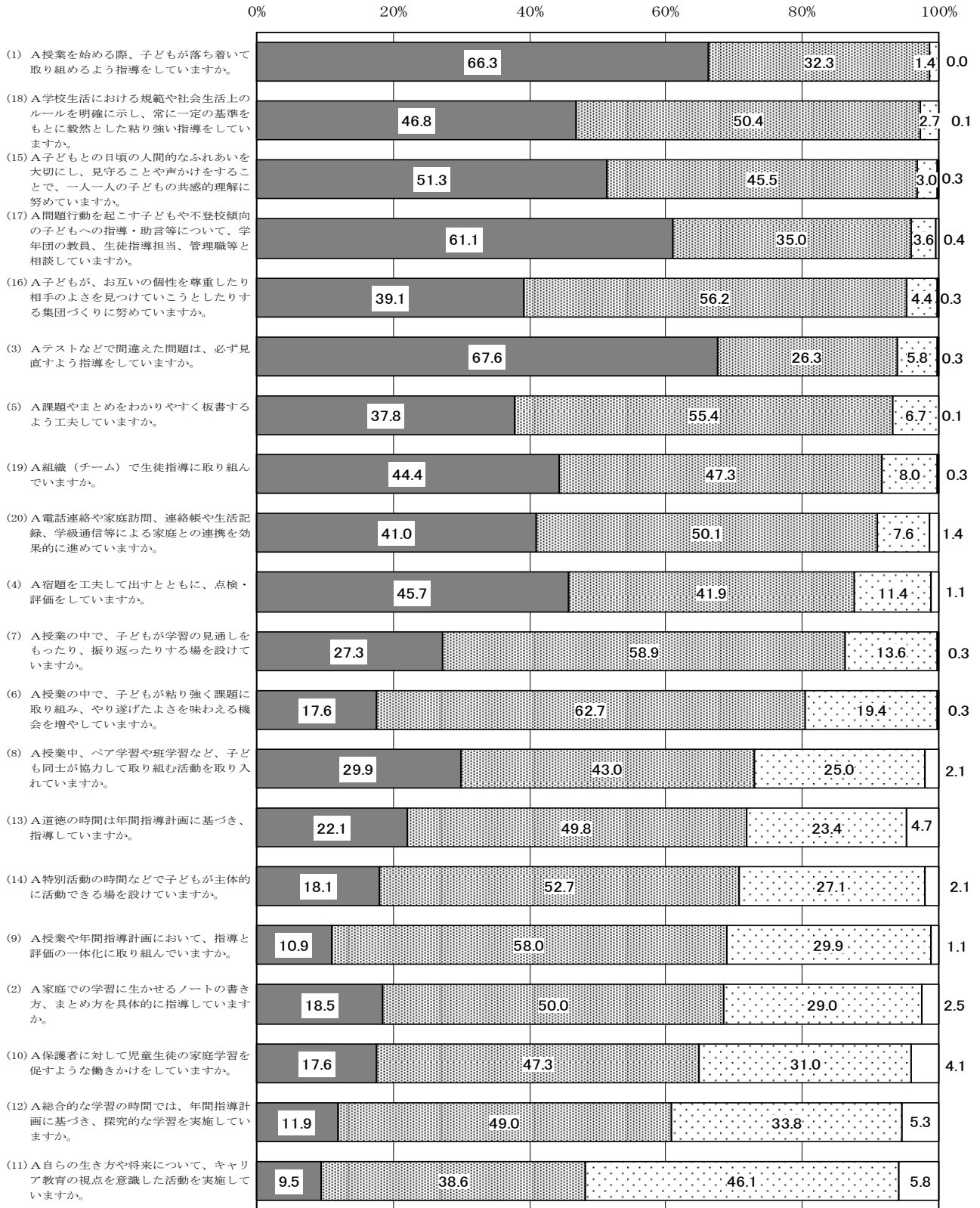
特別活動の時間などで子どもが主体的に活動できる場を設けていますか。(14) A



(3) 全質問調査結果 (小・中学校 1555名)

小・中学校

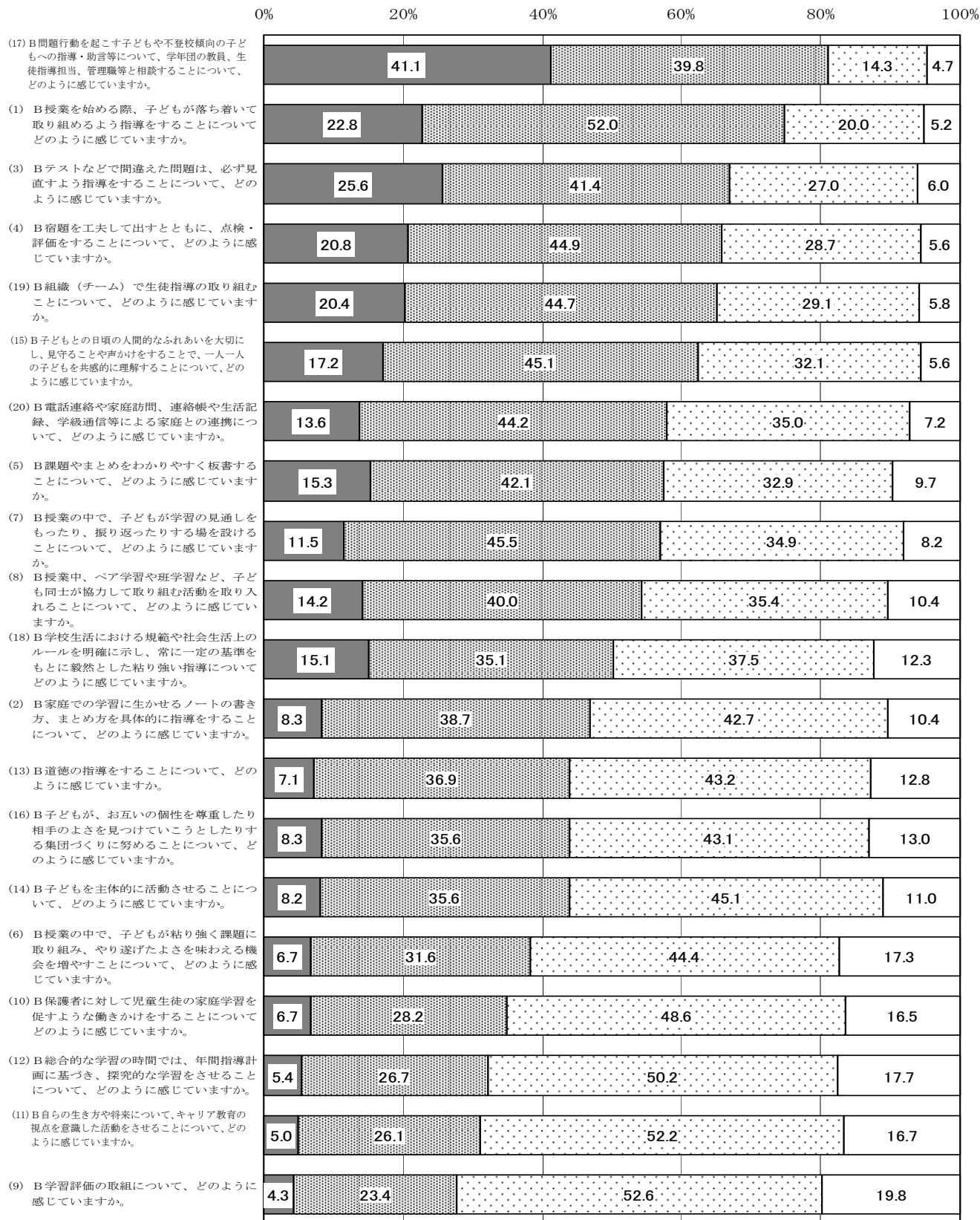
■ 1 よくしている ■ 2 どちらかといえばしている □ 3 あまりしていない □ 4 全くしていない



○ 授業を始める際、子どもが落ち着いて取り組めるよう指導を積極的にしている教員の割合が98.6%で最も高く、自らの生き方や将来についてキャリア教育の視点を意識した活動を積極的に実施している教員の割合が48.1%で最も低い。

小・中学校

■ 1 難しいと感じていない ■ 2 あまり難しいとは感じていない ■ 3 どちらかといえば難しいと感じている ■ 4 難しいと感じている

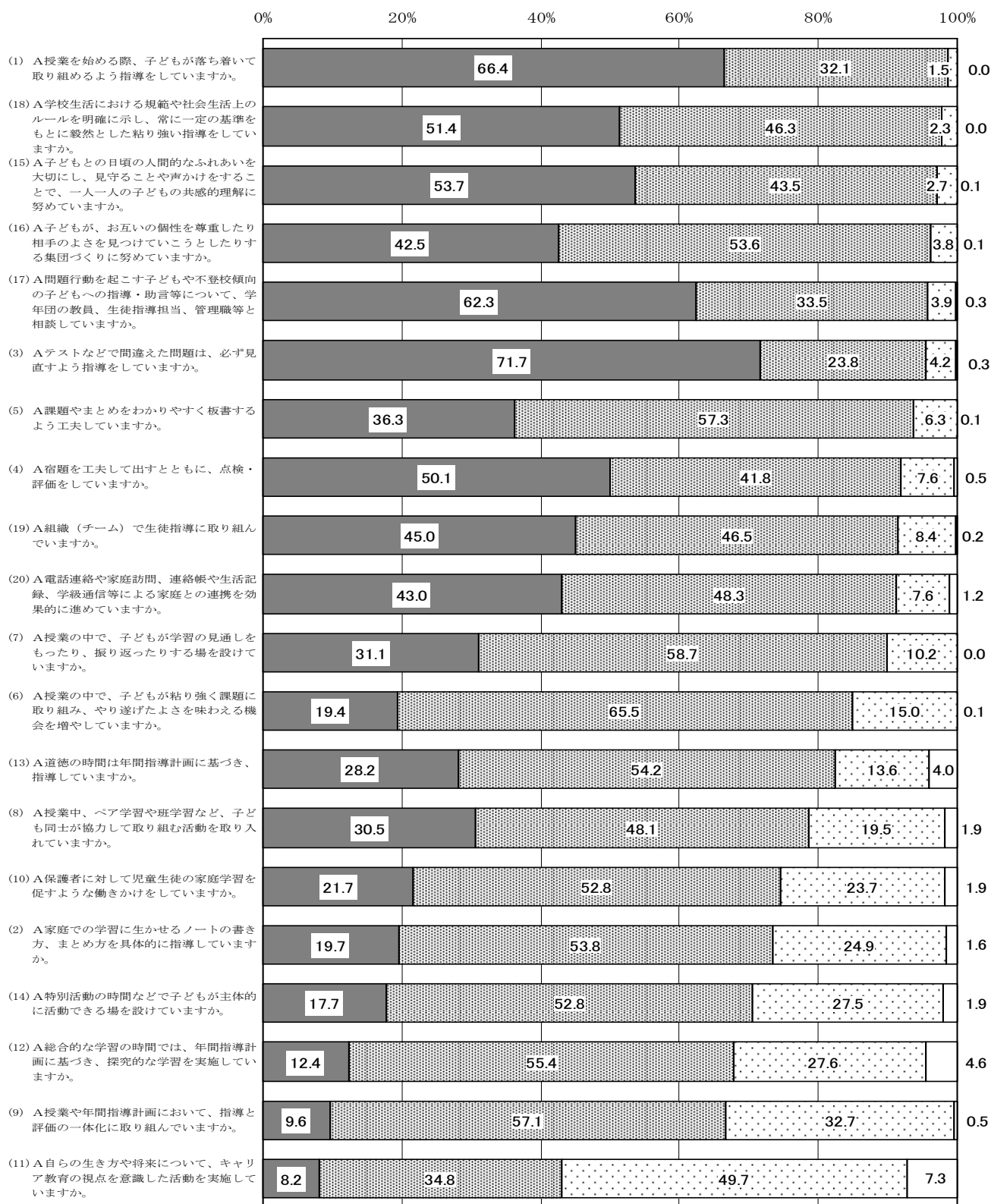


○最も指導に難しさを感じていないのは「問題行動を起こす子どもや不登校傾向の子どもへの指導・助言等について、学年団の教員、生徒指導担当、管理職等と相談する」ことであり、最も指導に難しさを感じているのは「学習評価の取組」である。

(4) 全質問調査結果（小学校 959名）

小学校

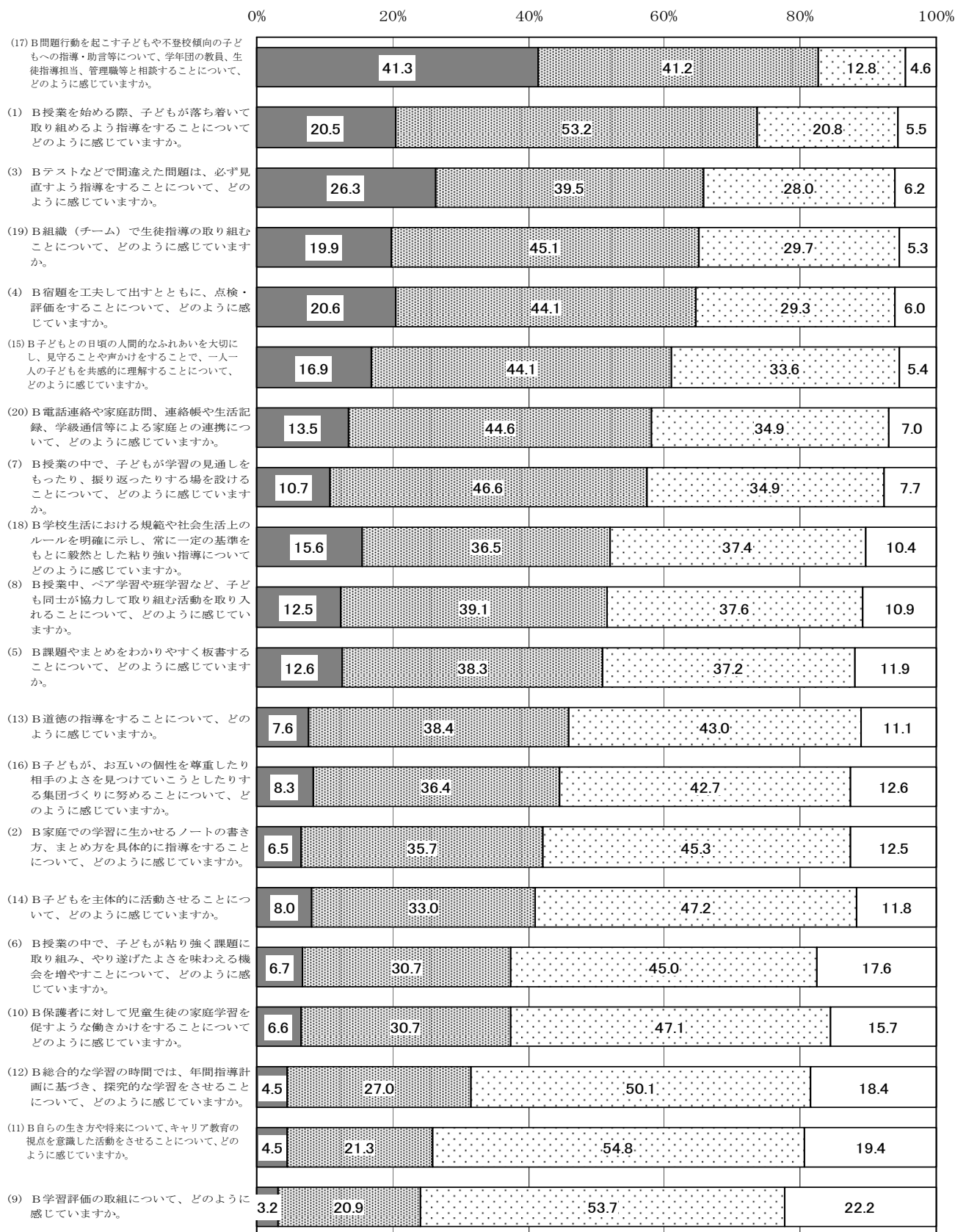
■ 1 よくしている □ 2 どちらかといえばしている □ 3 あまりしていない □ 4 全くしていない



○ 授業を始める際、子どもが落ち着いて取り組めるよう指導を積極的にしている教員の割合が98.5%で最も高く、自らの生き方や将来について、キャリア教育の視点を意識した活動を積極的に実施している教員の割合が43.0%で最も低い。

小学校

■ 1 難しいと感じていない ■ 2 あまり難しいとは感じていない □ 3 どちらかといえば難しいと感じている □ 4 難しいと感じている

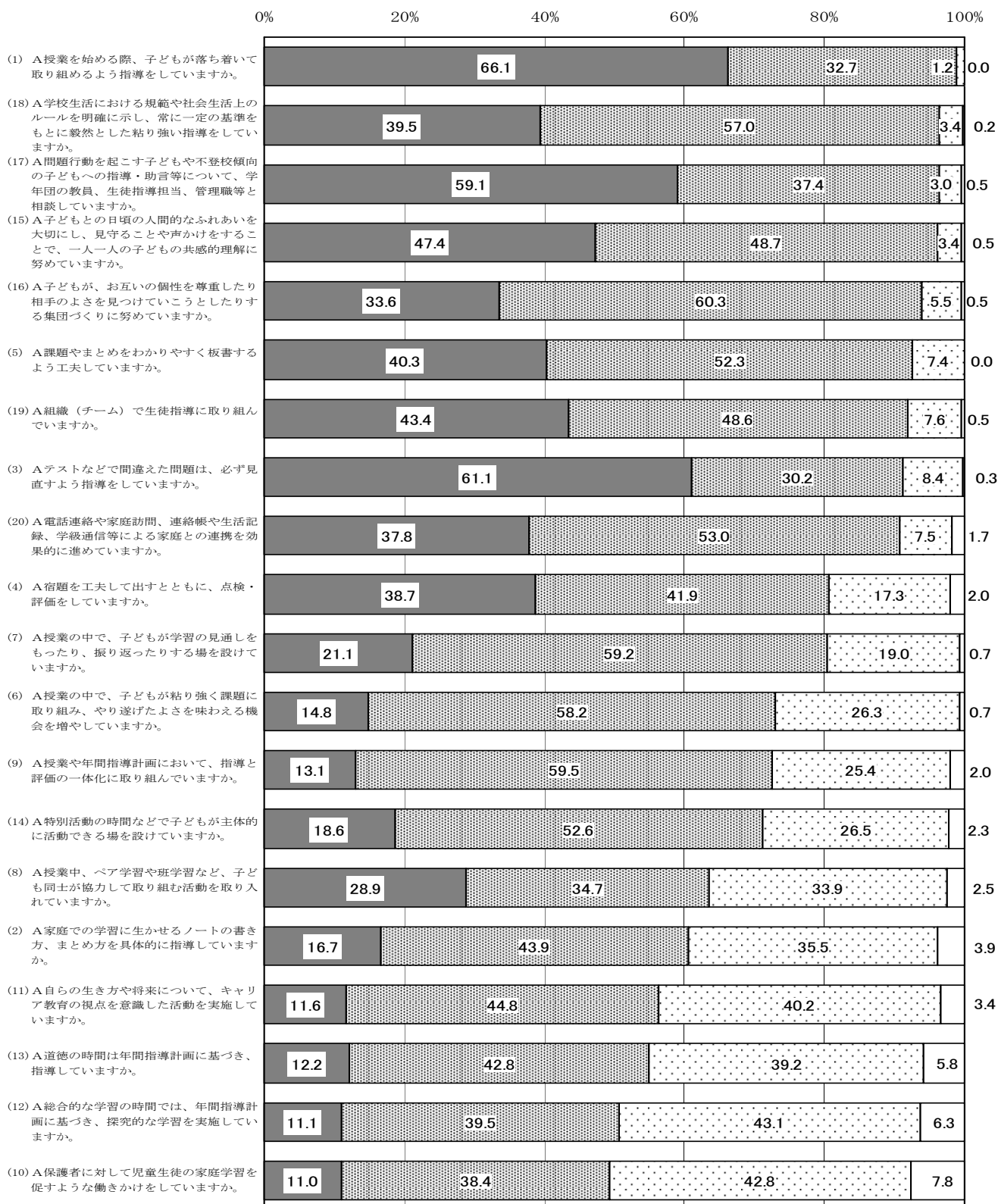


○ 最も指導に難しさを感じていないのは「問題行動を起こす子どもや不登校傾向の子どもへの指導・助言等について、学年団の教員、生徒指導担当、管理職等と相談すること」であり、最も指導に難しさを感じているのは「学習評価の取組」である。

(5) 全質問調査結果（中学校 596名）

中学校

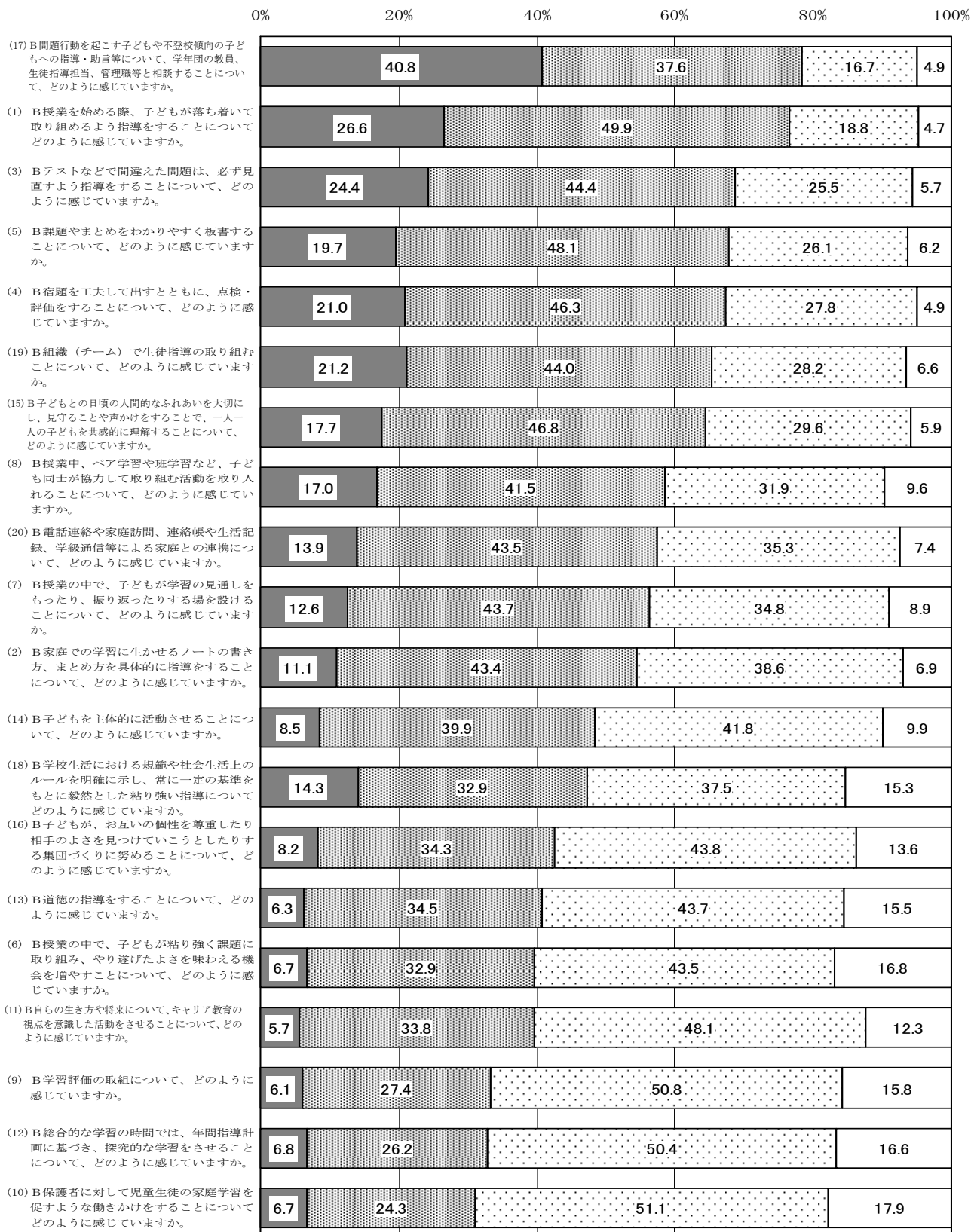
■ 1 よくしている ■ 2 どちらかといえばしている □ 3 あまりしていない □ 4 全くしていない



○ 授業を始める際、子どもが落ち着いて取り組めるよう指導を積極的にしている教員の割合が98.8%で最も高く、保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すように働きかけを積極的にしている教員の割合が49.4%で最も低い。

中学校

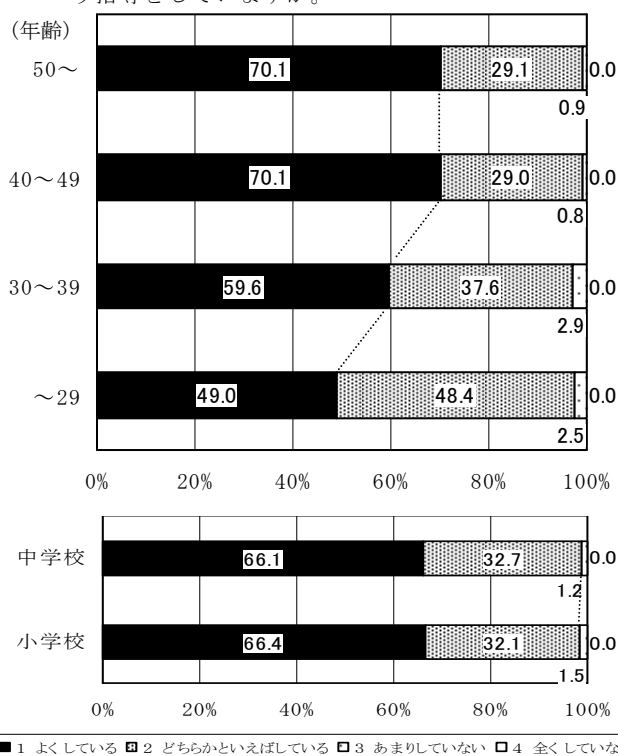
■ 1 難しいと感じていない □ 2 あまり難しいとは感じていない □ 3 どちらかといえば難しいと感じている □ 4 難しいと感じている



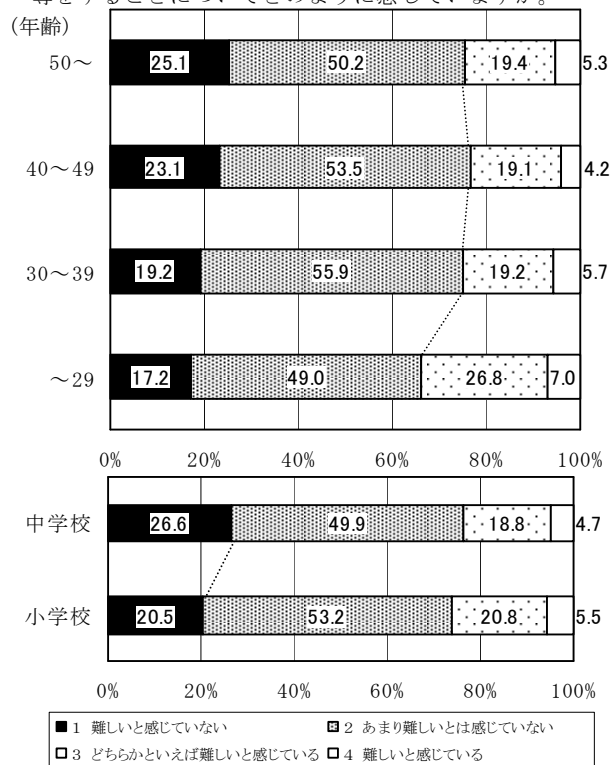
○ 最も指導に難しさを感じていないのは「問題行動を起こす子どもや不登校傾向の子どもへの指導・助言等について、学年団の教員、生徒指導担当、管理職等と相談すること」であり、最も指導に難しさを感じているのは「保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけをすること」である。

(6) 年齢別、小・中学校別クロス集計

(1) A 授業を始める際、子どもが落ち着いて取り組めるよう指導をしていますか。



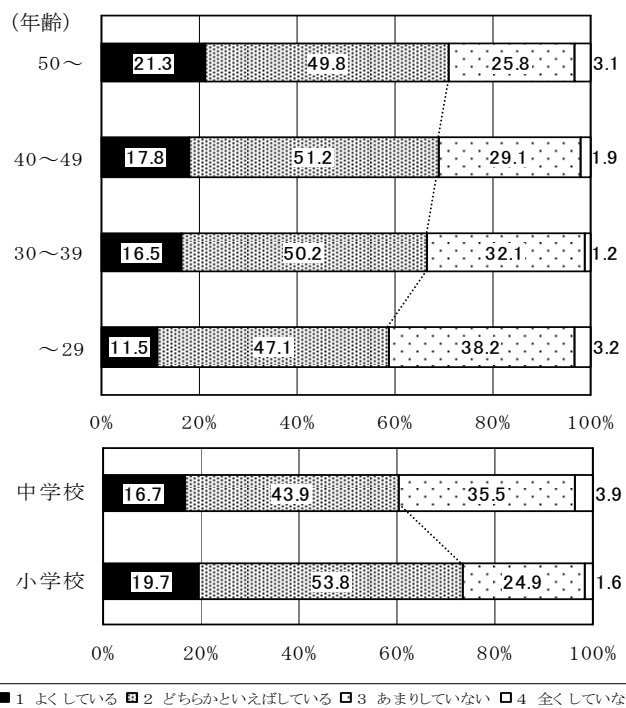
B 授業を始める際、子どもが落ち着いて取り組めるよう指導することについてどのように感じていますか。



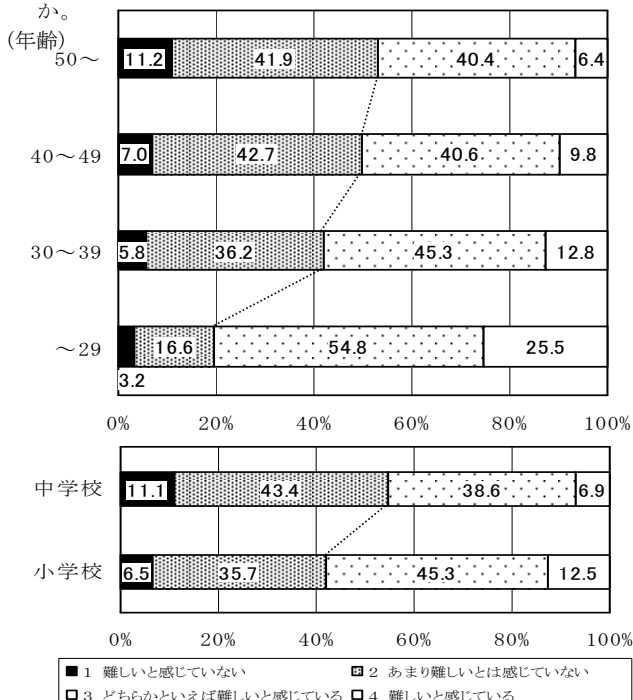
○指導を「よくしている」と回答した割合は、年齢が高くなるほど高くなる。

○「難しいと感じていない」と回答した割合は、中学校が小学校よりも高い。

(2) A 家庭での学習に生かせるノートの書き方、まとめ方を具体的に指導していますか。



B 家庭での学習に生かせるノートの書き方、まとめ方を具体的に指導することについて、どのように感じていますか。

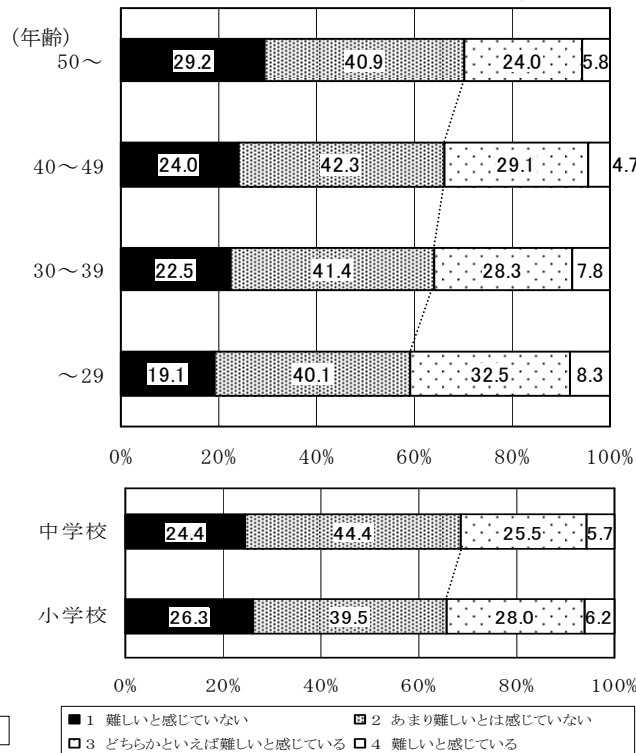
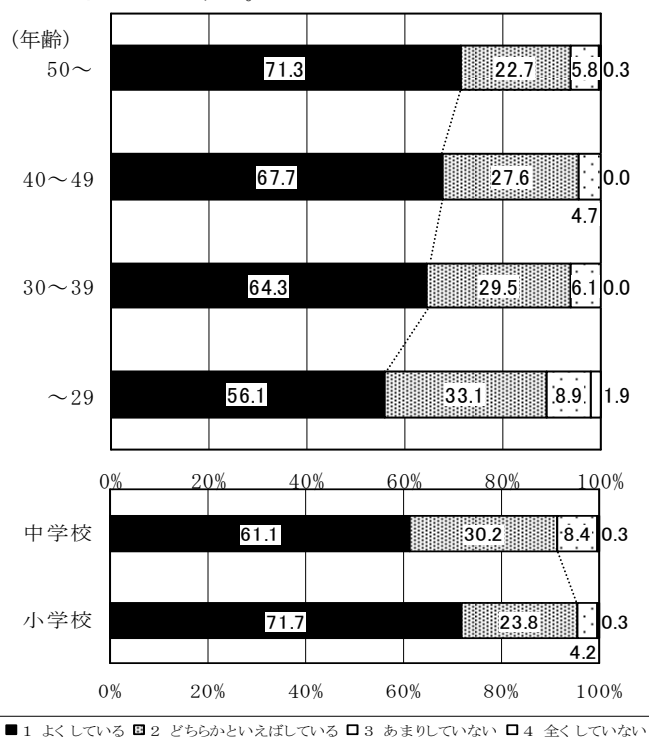


○指導を積極的にしている教員の割合は、小学校が中学校よりも高い。

○指導の難しさについては、年齢が高くなるほど難しさを感じていない教員の割合が高くなる。

○難しさを感じていない教員の割合は、中学校が小学校よりも高い。

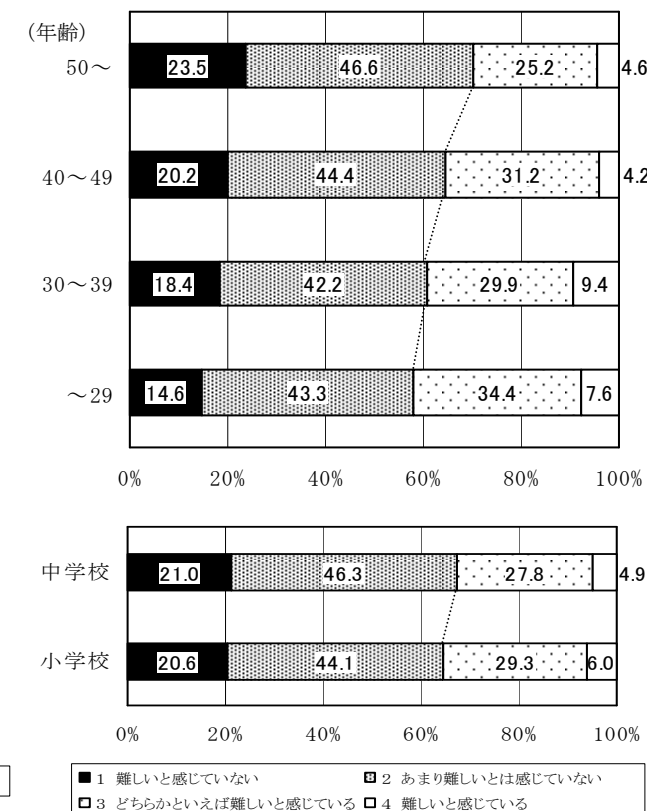
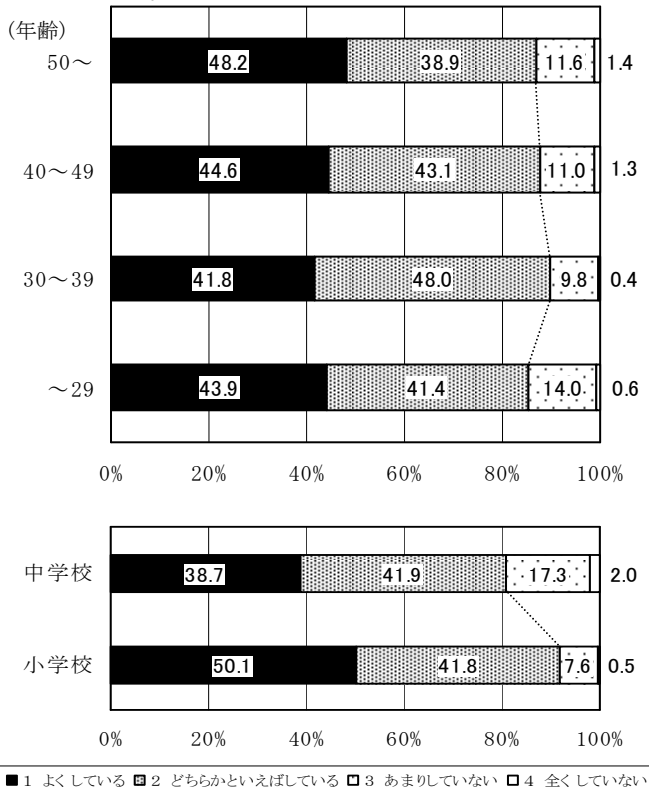
(3) A テストなどで間違えた問題は、必ず見直すよう指導をしていますか。 B テストなどで間違えた問題は、必ず見直すよう指導をすることについて、どのように感じていますか。



○指導を「よくしている」と回答した割合は、年齢が高くなるほど高くなる。

○指導を積極的にしている教員の割合は、小学校が中学校よりも高い。

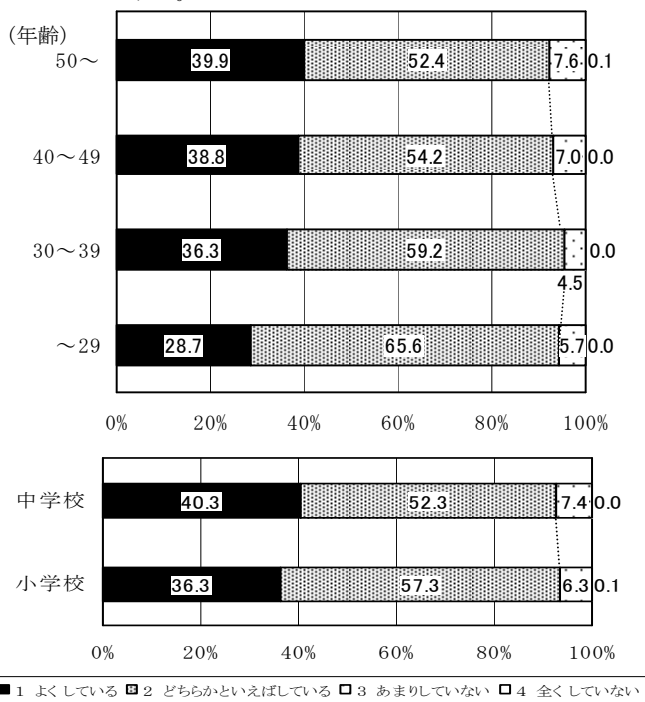
(4) A 宿題を工夫して出すとともに、点検・評価をしていますか。 B 宿題を工夫して出すとともに、点検・評価をすることについて、どのように感じていますか。



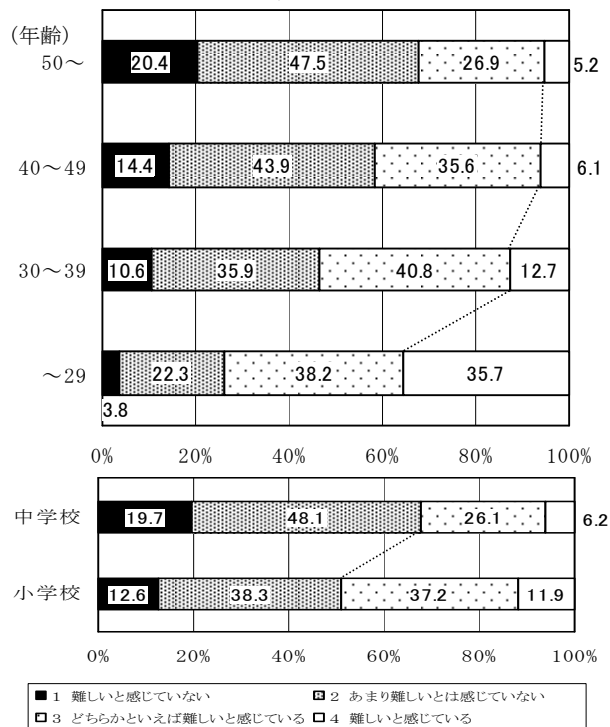
○指導を積極的にしている教員の割合は、小学校が中学校よりも高い。

○指導の難しさについては、年齢が高くなるほど難しさを感じていない教員の割合が高くなる。

(5) A 課題やまとめをわかりやすく板書するよう工夫していますか。



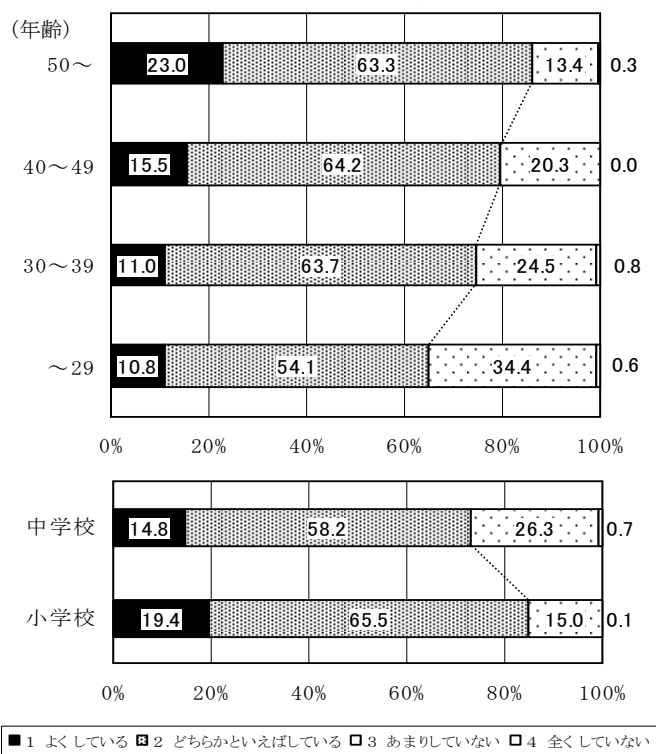
B 課題やまとめをわかりやすく板書することについて、どのように感じていますか。



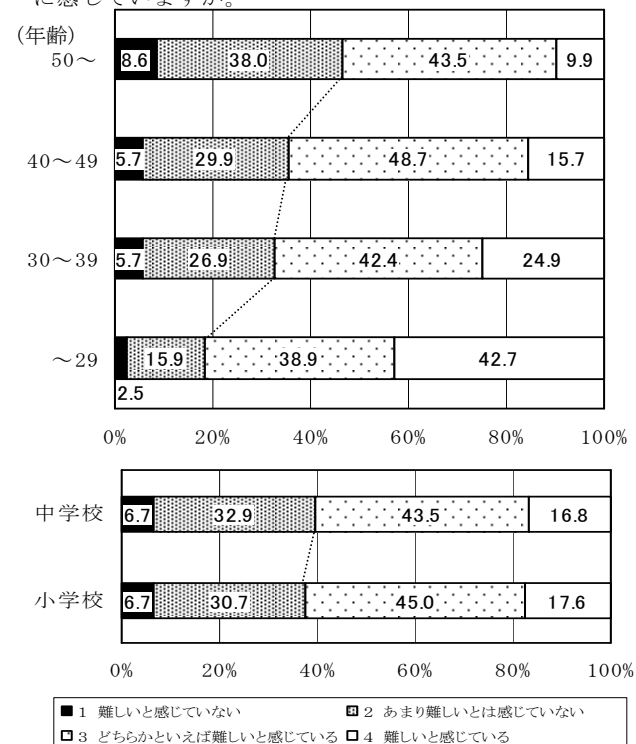
○年齢を問わず 90%以上の教員が板書を工夫し、年齢が高くなるほど「難しいと感じている」と回答した割合が低くなる。

○20歳代の教員の 73.9%は、板書について難しさを感じている。

(6) A 授業の中で、子どもが粘り強く課題に取り組み、やり遂げたよさを味わえる機会を増やしていますか。



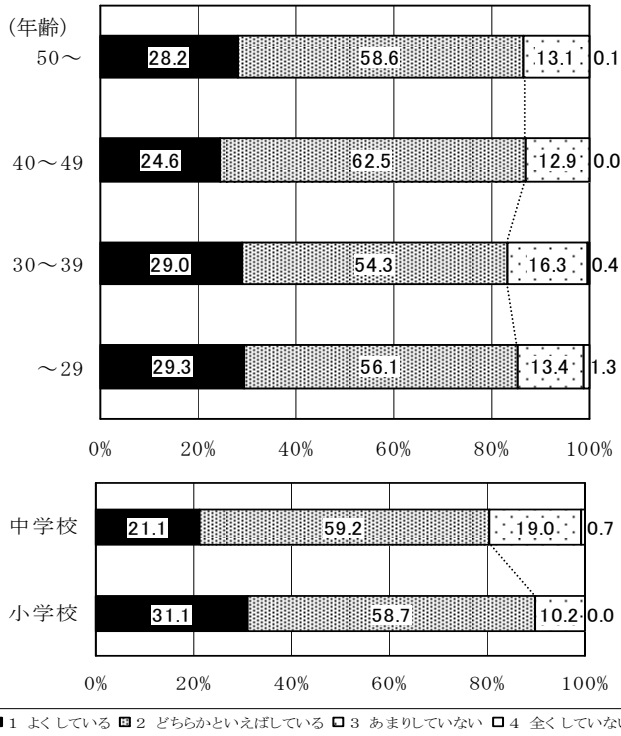
B 授業の中で、子どもが粘り強く課題に取り組み、やり遂げたよさを味わえる機会を増やすことについて、どのように感じていますか。



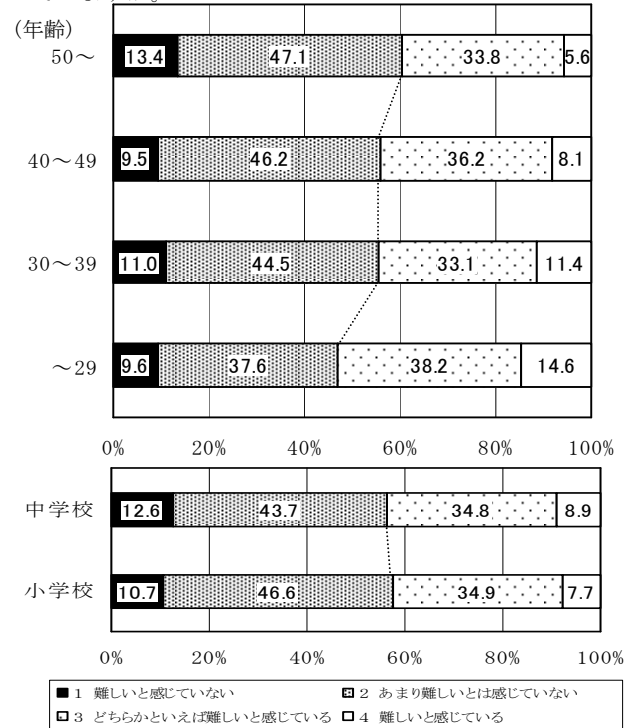
○年齢が高くなるほど、指導を積極的にしている教員の割合は高くなり、指導に難しさを感じていない教員の割合も高くなる。

○指導を積極的にしている教員の割合は、小学校が中学校よりも高い。

(7) A 授業の中で、子どもが学習の見通しをもったり、振り返ったりする場を設けていますか。



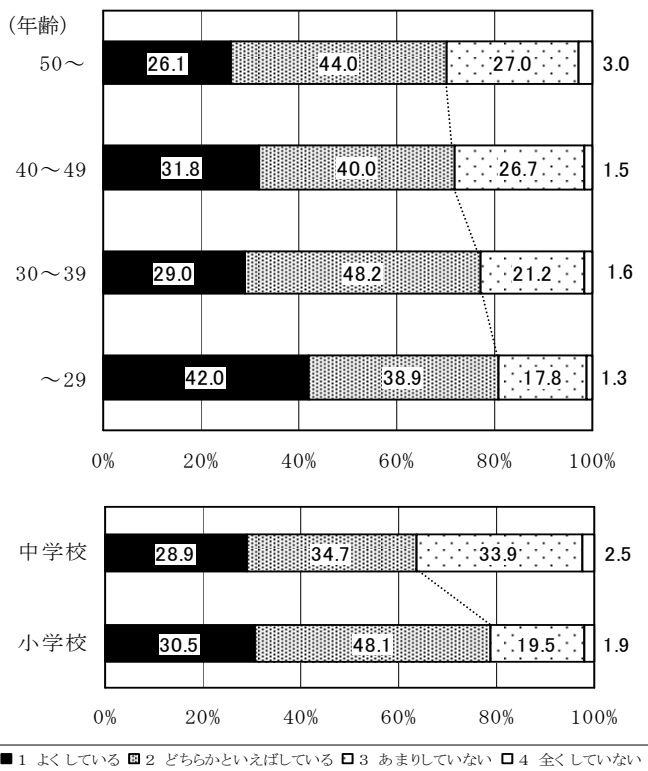
B 授業の中で、子どもが学習の見通しをもったり、振り返ったりする場を設けることについて、どのように感じていますか。



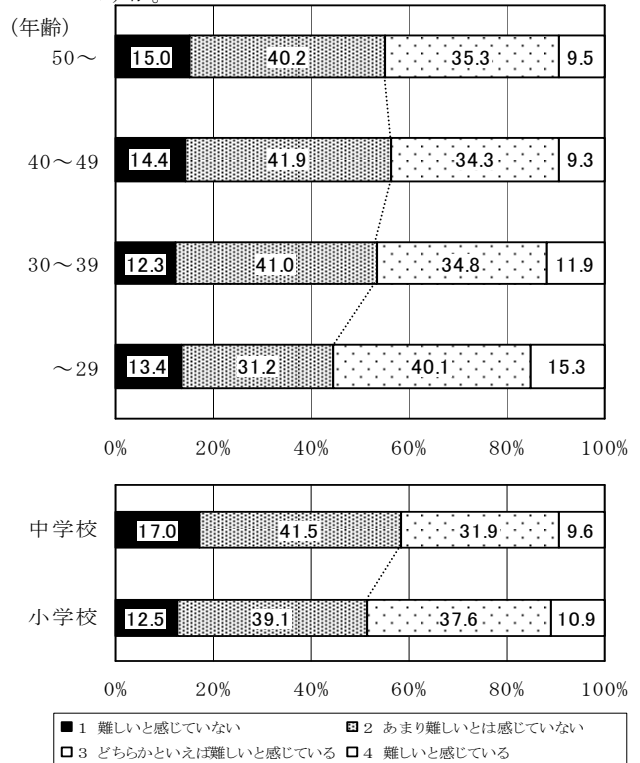
○指導を積極的にしている教員の割合は、小学校が中学校よりも高い。

○年齢が高くなるほど、指導に難しさを感じていない教員の割合が高くなる。

(8) A 授業中、ペア学習や班学習など、子ども同士が協力して取り組む活動を取り入れていますか。



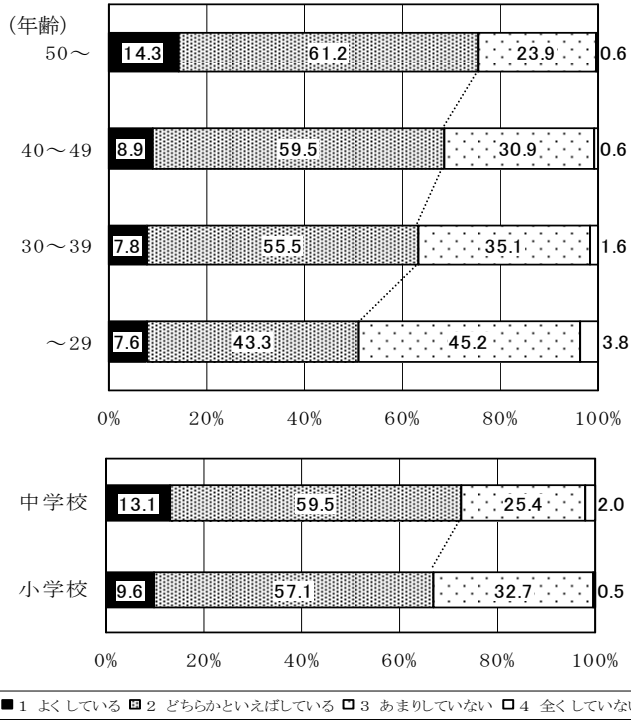
B 授業中、ペア学習や班学習など、子ども同士が協力して取り組む活動を取り入れることについて、どのように感じていますか。



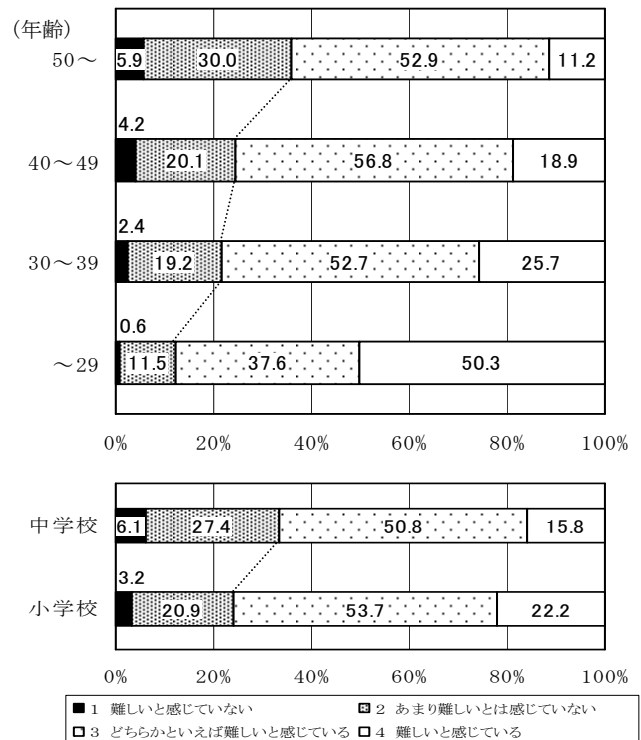
○指導を積極的にしている教員の割合は、年齢が低くなるほど高くなり、小学校が中学校よりも高い。

○指導に難しさを感じていない教員の割合は、中学校が小学校よりも高い。

(9) A 授業や年間指導計画において、指導と評価の一体化に取り組んでいますか。

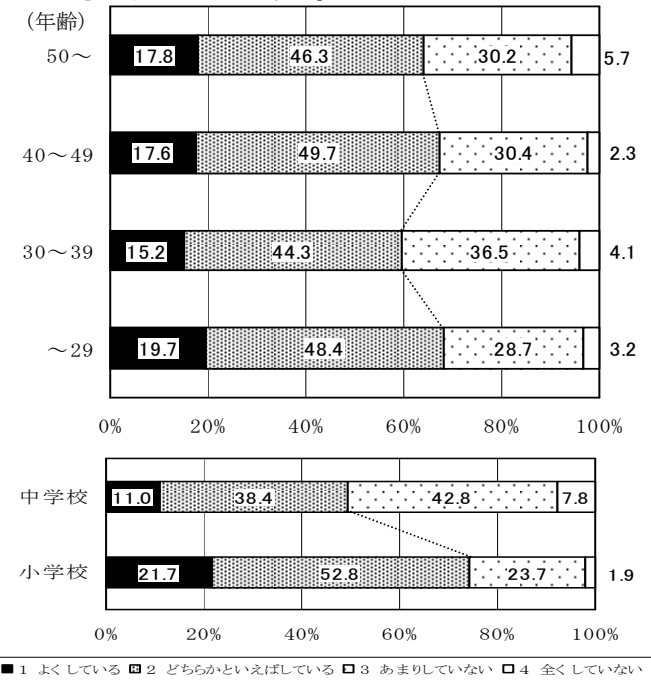


B 学習評価の取組について、どのように感じていますか。

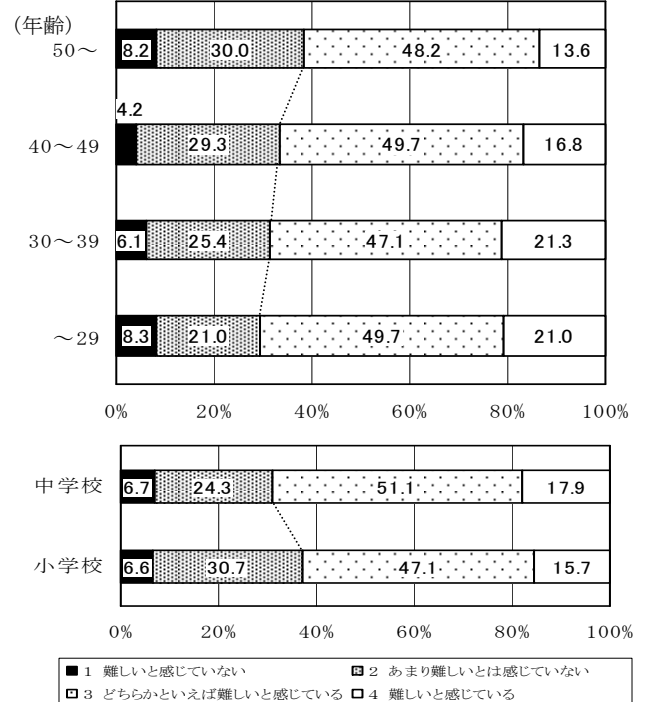


- 年齢が高くなるほど、指導を積極的にしている教員の割合は高くなり、指導に難しさを感じていない教員の割合も高くなる。
- 指導を積極的にしている教員の割合は、中学校が小学校よりも高い。
- 指導に難しさを感じていない教員の割合は中学校が小学校よりも高い。

(10) A 保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけをしていますか。

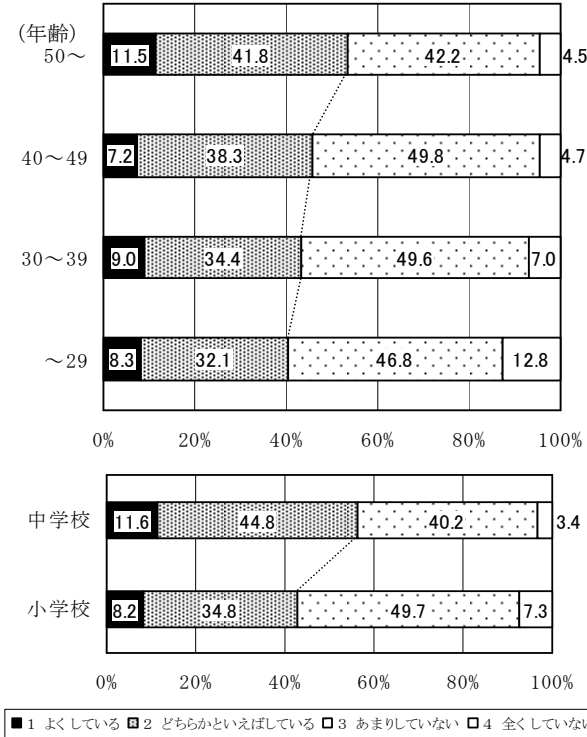


B 保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけをすることについて、どのように感じていますか。

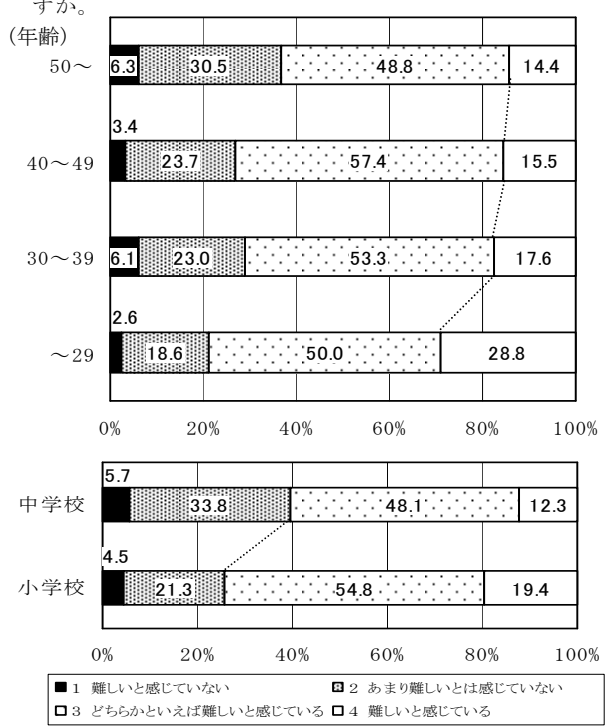


- 指導を積極的にしている教員の割合は、年齢別の傾向は見られないが、小学校が中学校よりも高い。
- 年齢や校種を問わず、指導に難しさを感じている教員の割合は60%を超えている。

(11) A 自らの生き方や将来について、キャリア教育の視点を意識した活動を実施していますか。

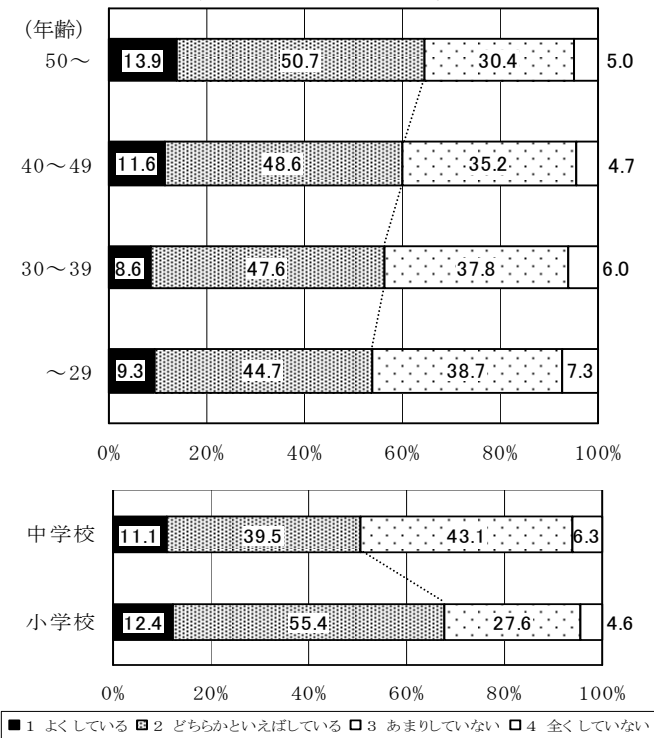


B 自らの生き方や将来について、キャリア教育の視点を意識した活動をさせることについて、どのように感じていますか。

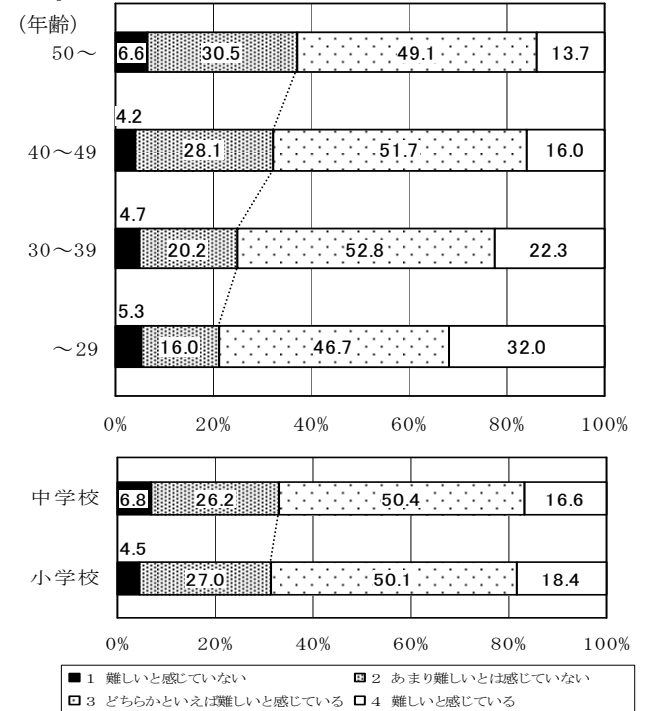


- 指導を積極的にしている教員の割合は、中学校が小学校よりも高い。
- 年齢が高くなるほど、指導が「難しいと感じている」と回答した割合が低くなる。

(12) A 総合的な学習の時間では、年間指導計画に基づき、探究的な学習を実施していますか。

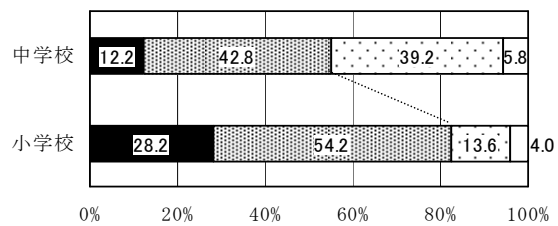
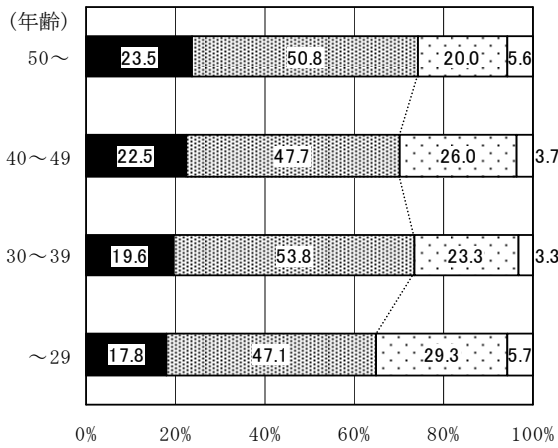


B 総合的な学習の時間では、年間指導計画に基づき、探究的な学習をさせることについて、どのように感じていますか。



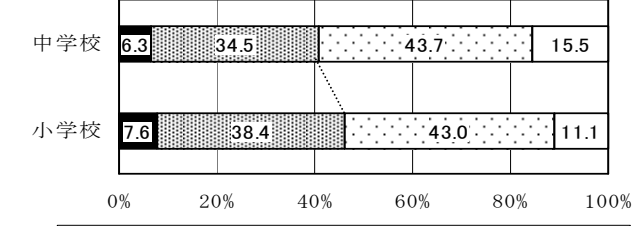
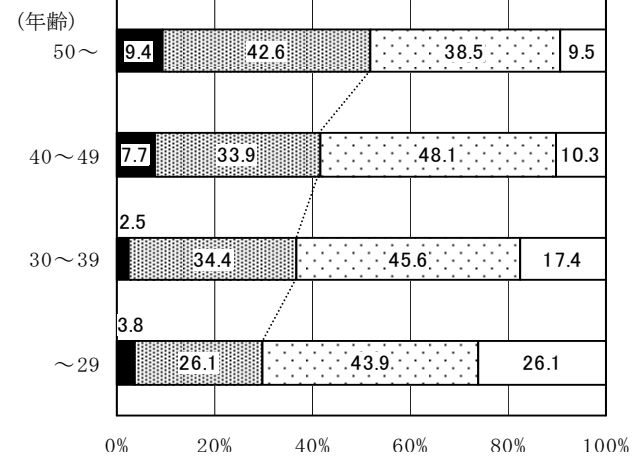
- 指導を積極的にしている教員の割合は、小学校が中学校よりも高い。
- 年齢が高くなるほど、指導に難しさを感じていない教員の割合が高くなる。

(13) A 道徳の時間は年間指導計画に基づき、指導していますか。



■ 1 よくしている □ 2 どちらかといえばしている □ 3 あまりしていない □ 4 全くしていない

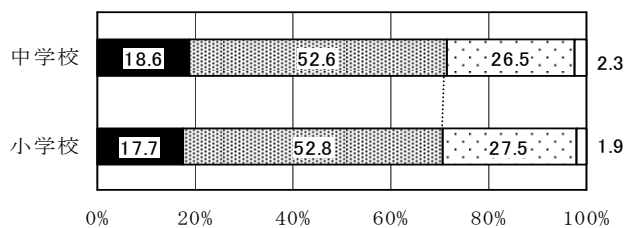
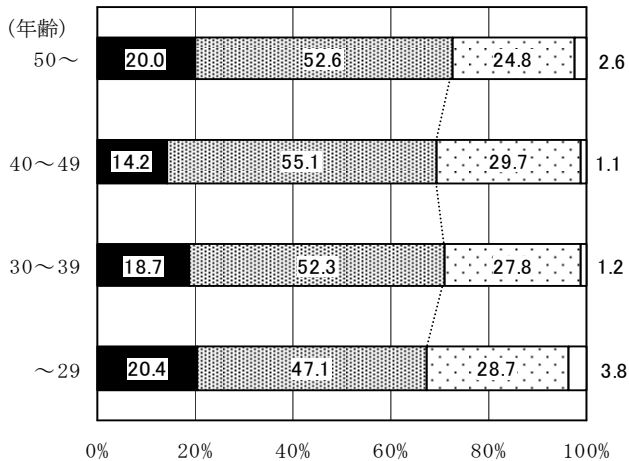
B 道徳の指導をすることについて、どのように感じていますか。



■ 1 難しいと感じていない □ 2 あまり難しいとは感じていない □ 3 どちらかといえば難しいと感じている □ 4 難しいと感じている

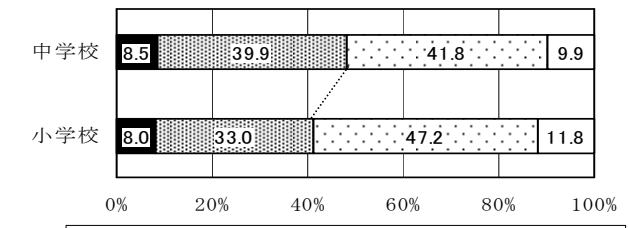
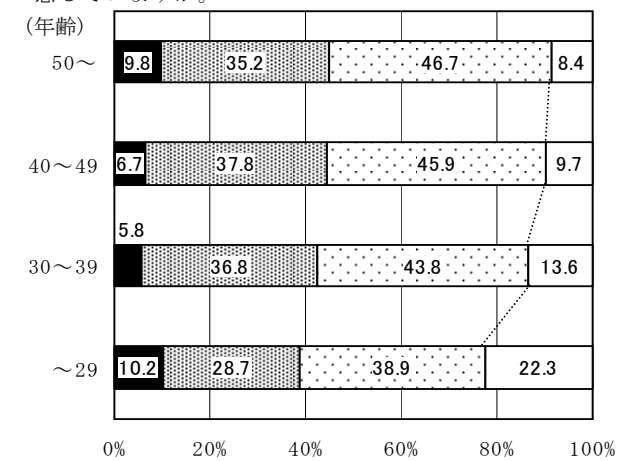
- 指導を積極的にしている教員の割合は、小学校が中学校よりも高い。
- 年齢が高くなるほど、指導に難しさを感じていない教員の割合が高くなる。

(14) A 特別活動の時間などで子どもが主体的に活動できる場を設けていますか。



■ 1 よくしている □ 2 どちらかといえばしている □ 3 あまりしていない □ 4 全くしていない

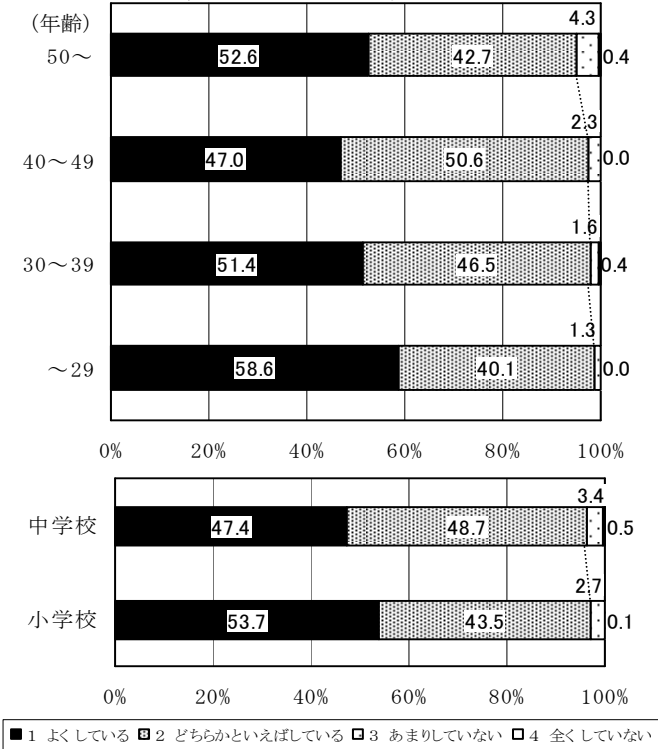
B 子どもを主体的に活動させることについて、どのように感じていますか。



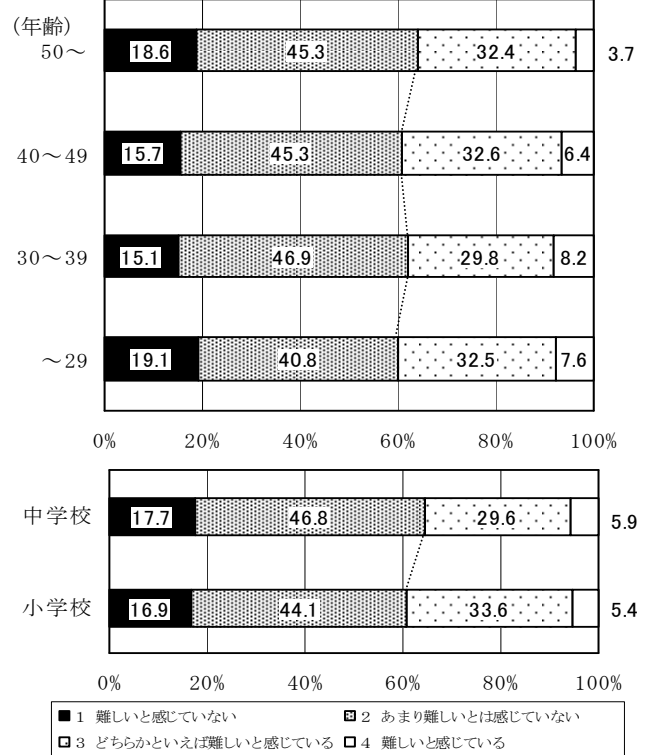
■ 1 難しいと感じていない □ 2 あまり難しいとは感じていない □ 3 どちらかといえば難しいと感じている □ 4 難しいと感じている

- 年齢が高くなるほど、指導が「難しいと感じている」と回答した割合が低くなる。
- 指導に難しさを感じていない教員の割合は中学校が小学校よりも高い。

(15) A 子どもとの日頃の人間的なふれあいを大切にし、見守ることや声かけをすることで、一人一人の子どもの共感的理解に努めていますか。

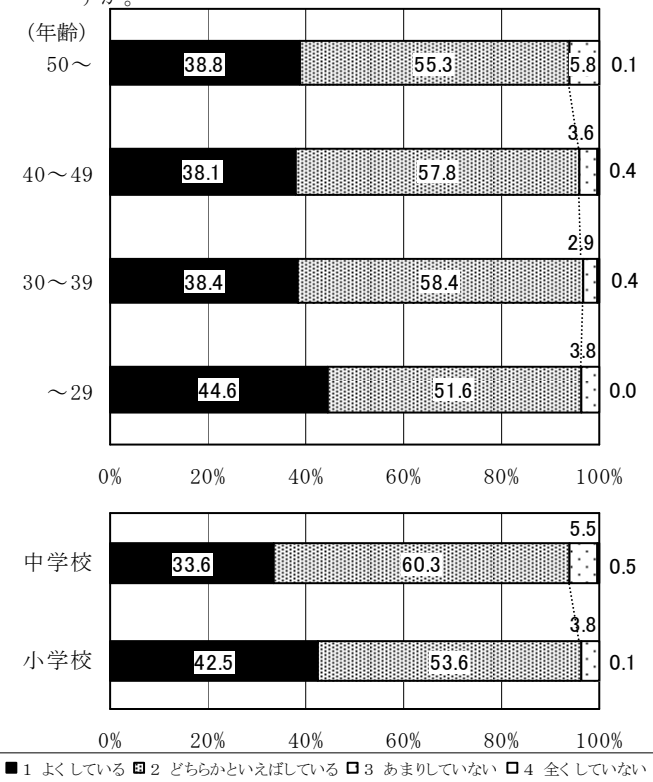


B 子どもとの日頃の人間的なふれあいを大切にし、見守ることや声かけをすることで、一人一人の子どもの共感的理解することについて、どのように感じていますか。

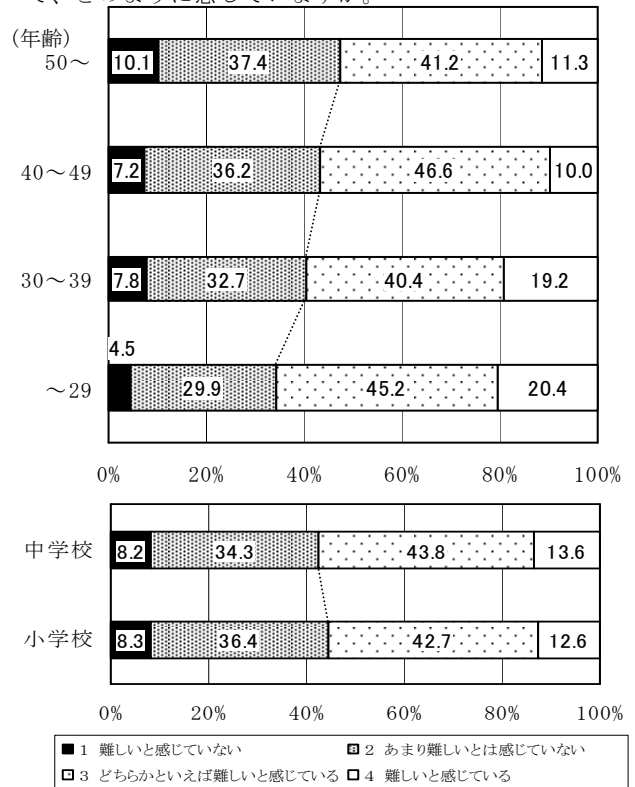


○共感的理解に努めている教員の割合は、年齢や校種を問わず90%を超えている。

(16) A 子どもが、お互いの個性を尊重したり相手のよさを見つけていこうとしたりする集団づくりに努めていますか。

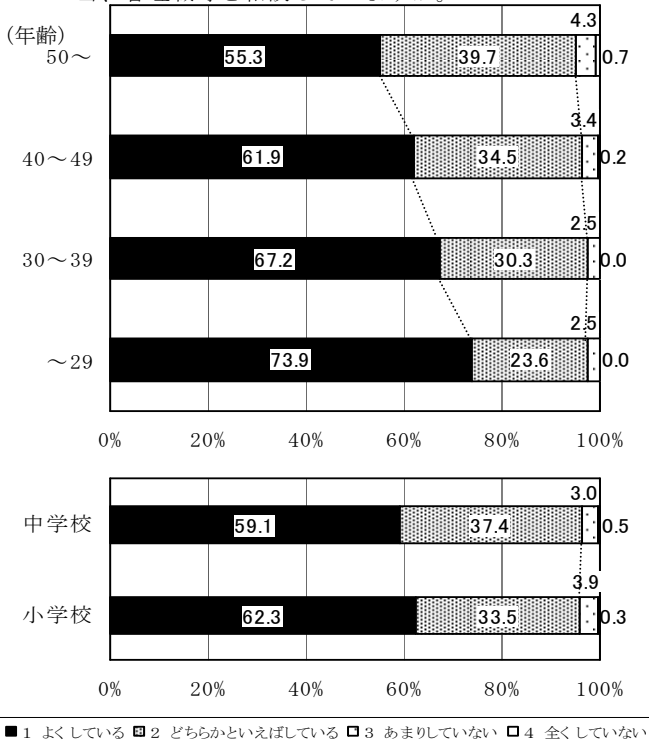


B 子どもが、お互いの個性を尊重したり相手のよさを見つけていこうとしたりする集団づくりに努めることについて、どのように感じていますか。

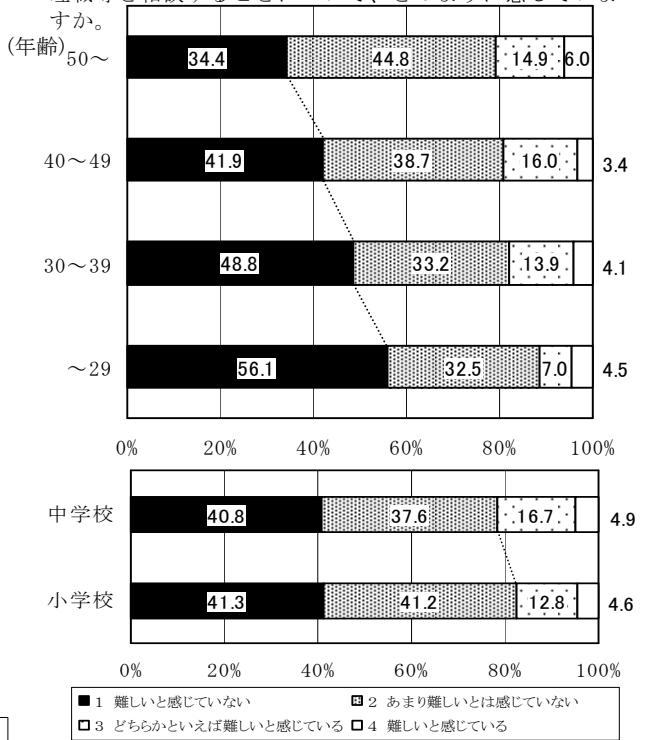


○年齢や校種を問わず集団づくりに努めている教員が90%を超え、年齢が高くなるほど指導に難しさを感じていない教員の割合が高くなる。

(17) A 問題行動を起こす子どもや不登校傾向の子どもへの指導・助言等について、学年団の教員、生徒指導担当、管理職等と相談していますか。



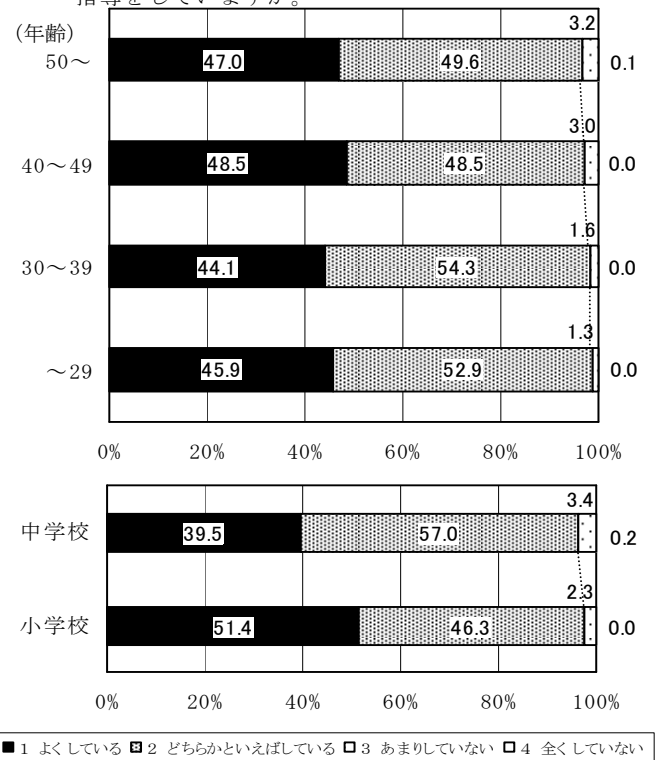
B 問題行動を起こす子どもや不登校傾向の子どもへの指導・助言等について、学年団の教員、生徒指導担当、管理職等と相談することについて、どのように感じていますか。



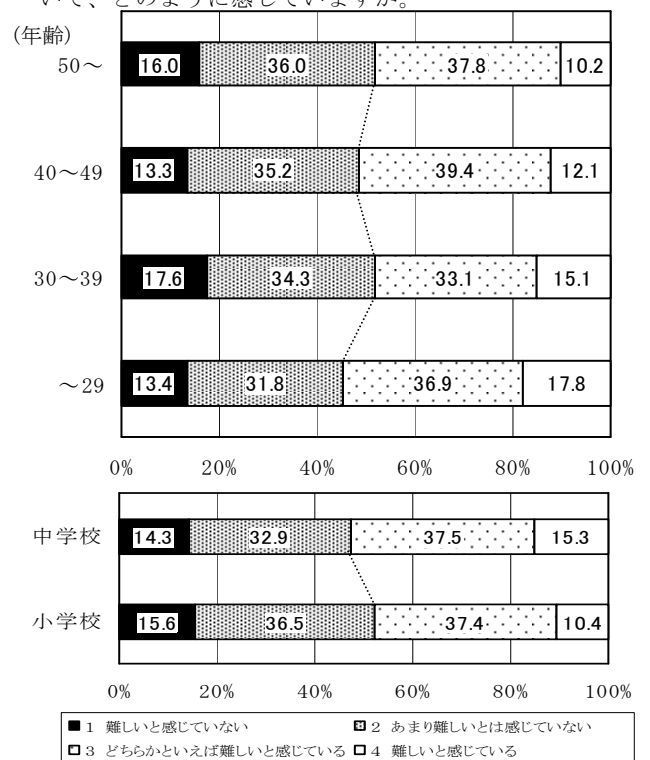
○相談している教員の割合は年齢や校種を問わず90%を超え、年齢が低くなるほど「よくしている」と回答した割合が高くなる。

○年齢が低くなるほど「難しいと感じていない」と回答した割合が高くなる。

(18) A 学校生活における規範や社会生活上のルールを明確に示し、常に一定の基準をもとに毅然とした粘り強い指導をしていますか。



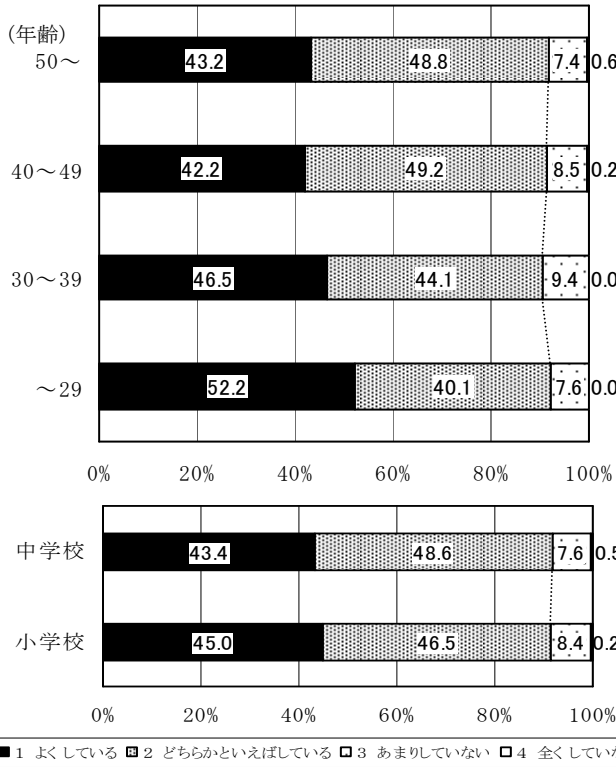
B 学校生活における規範や社会生活上のルールを明確に示し、常に一定の基準をもとに毅然とした粘り強い指導について、どのように感じていますか。



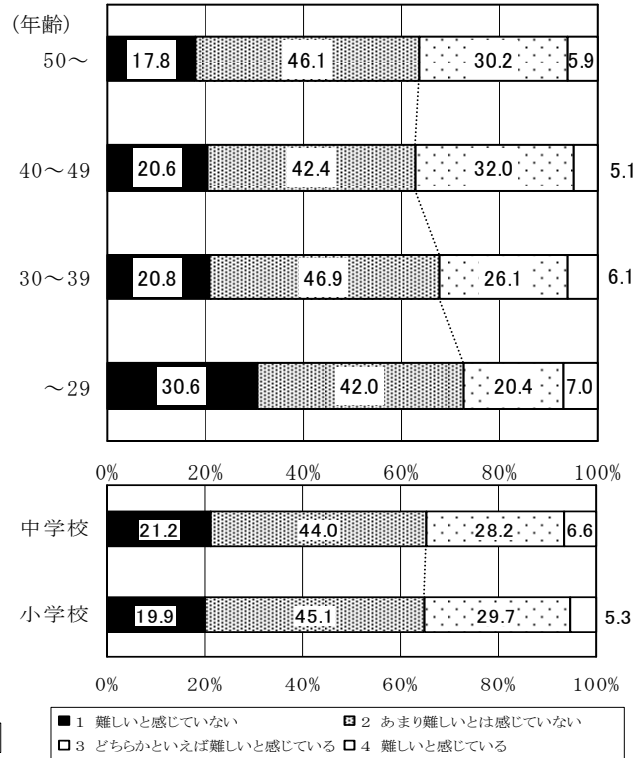
○粘り強い指導をしている教員の割合は、年齢や校種を問わず90%を超えている。

○指導に難しさを感じている教員の割合は、年齢や校種を問わず50%程度である。

(19) A 組織（チーム）で生徒指導に取り組んでいますか。



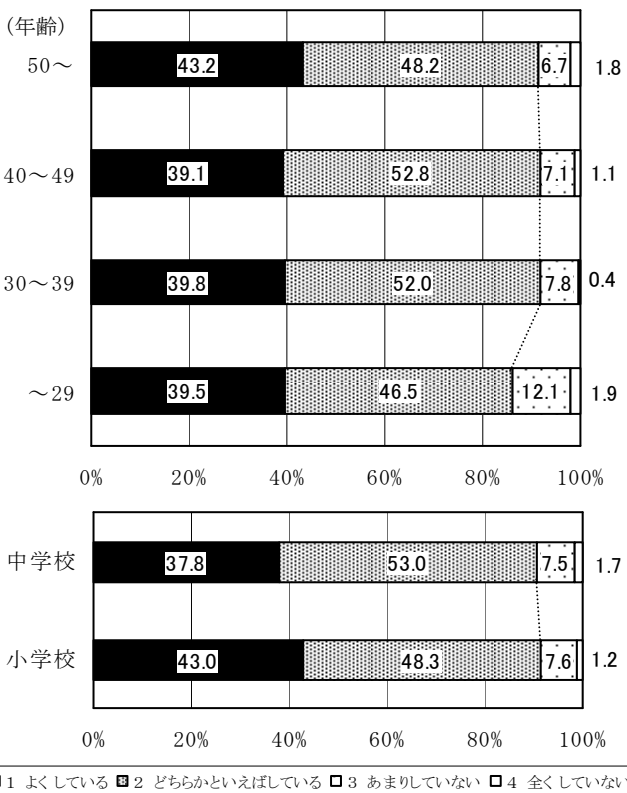
B 組織（チーム）で生徒指導に取り組むことについて、どのように感じていますか。



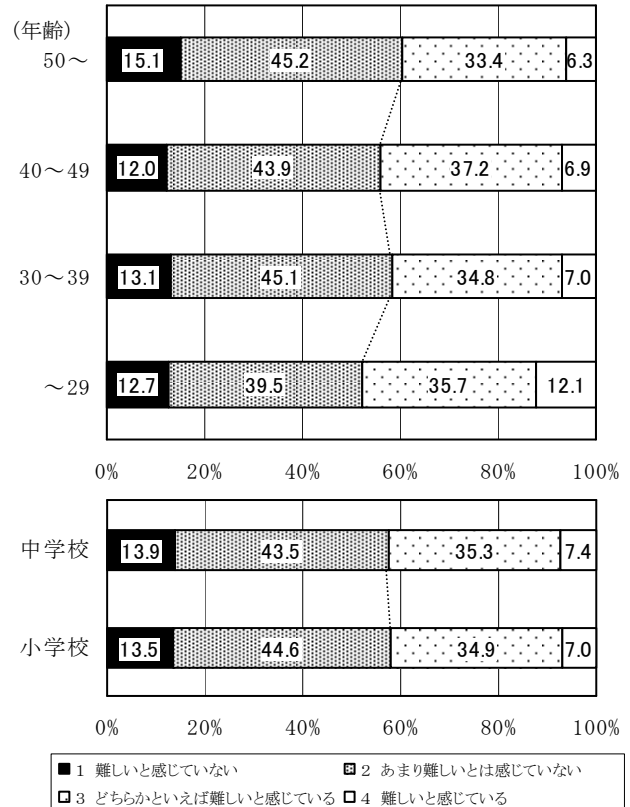
○組織で生徒指導に取り組んでいる教員の割合は、年齢や校種を問わず90%を超えている。

○年齢が低くなるほど指導に難しさを感じていない教員の割合が高くなる。

(20) A 電話連絡や家庭訪問、連絡帳や生活記録、学級通信等による家庭との連携を効果的に進めていますか。



B 電話連絡や家庭訪問、連絡帳や生活記録、学級通信等による家庭との連携について、どのように感じていますか。



○家庭との連携を効果的に進めている教員の割合は、30歳以上で90%を超えている。

(7) 回答率に特徴が見られるもの

年齢別の回答率に特徴が見られるもの

◆(50歳以上－29歳以下)が大きいもの(回答1+回答2)

質問A (50歳以上－29歳以下)		質問B (50歳以上－29歳以下)	
(11)	自らの生き方や将来について、キャリア教育の視点を意識した活動を実施していますか。 1+2の差：32.0ポイント	(5)	課題やまとめをわかりやすく板書することについて、どのように感じていますか。 1+2の差：41.8ポイント
(9)	授業や年間指導計画において、指導と評価の一体化に取り組んでいますか。 1+2の差：24.5ポイント	(2)	家庭での学習に生かせるノートの書き方、まとめ方を具体的に指導することについて、どのように感じていますか。 1+2の差：33.4ポイント
(6)	授業の中で、子どもが粘り強く課題に取り組み、やり遂げたよさを味わえる機会を増やしていますか。 1+2の差：21.3ポイント	(6)	授業の中で、子どもが粘り強く課題に取り組み、やり遂げたよさを味わえる機会を増やすことについて、どのように感じていますか。 1+2の差：28.1ポイント
(2)	家庭での学習に生かせるノートの書き方、まとめ方を具体的に指導していますか。 1+2の差：12.5ポイント	(9)	学習評価の取組について、どのように感じていますか。 1+2の差：23.8ポイント
(12)	総合的な学習の時間では、年間指導計画に基づき、探究的な学習を実施していますか。 1+2の差：10.6ポイント	(13)	道徳の指導をすることについて、どのように感じていますか。 1+2の差：22.0ポイント

◆(50歳以上－29歳以下)が小さいもの(回答1+回答2)

質問A (50歳以上－29歳以下)		質問B (50歳以上－29歳以下)	
(8)	授業中、ペア学習や班学習など、子ども同士が協力して取り組む活動を取り入れていますか。 1+2の差：-10.8ポイント	(17)	問題行動を起こす子どもや不登校傾向の子どもへの指導・助言等について、学年団の教員、生徒指導担当、管理職等と相談することについて、どのように感じていますか。 1+2の差：-9.4ポイント
(10)	保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけをしていますか。 1+2の差：-4.0ポイント	(19)	組織(チーム)で生徒指導の取り組むことについて、どのように感じていますか。 1+2の差：-8.8ポイント
(15)	子どもとの日頃の人間的なふれあいを大切にし、見守ることや声かけをすることで、一人一人の子どもの共感的理解に努めていますか。 1+2の差：-3.5ポイント	(15)	子どもとの日頃の人間的なふれあいを大切にし、見守ることや声かけをすることで、一人一人の子どもの共感的に理解することについて、どのように感じていますか。 1+2の差：4.0ポイント
(17)	問題行動を起こす子どもや不登校傾向の子どもへの指導・助言等について、学年団の教員、生徒指導担当、管理職等と相談していますか。 1+2の差：-2.5ポイント	(14)	子どもを主体的に活動させることについて、どのように感じていますか。 1+2の差：6.1ポイント
(18)	学校生活における規範や社会生活上のルールを明確に示し、常に一定の基準をもとに毅然とした粘り強い指導をしていますか。 1+2の差：-2.1ポイント	(18)	学校生活における規範や社会生活上のルールを明確に示し、常に一定の基準をもとに毅然とした粘り強い指導について、どのように感じていますか。 1+2の差：6.8ポイント

小・中学校別の回答率に特徴が見られるもの

◆小学校の回答率(回答1+回答2)が高いもの(差が大きいもの5項目)

質問A (小学校-中学校)		質問B (小学校-中学校)	
(13)	道徳の時間は年間指導計画に基づき、指導していますか。	(10)	保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけをすることについて、どのように感じていますか。
	1+2の差: 27.5ポイント		1+2の差: 6.3ポイント
(10)	保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけをしていますか。	(13)	道徳の指導をすることについて、どのように感じていますか。
	1+2の差: 25.0ポイント		1+2の差: 5.1ポイント
(12)	総合的な学習の時間では、年間指導計画に基づき、探究的な学習を実施していますか。	(18)	学校生活における規範や社会生活上のルールを明確に示し、常に一定の基準をもとに毅然とした粘り強い指導について、どのように感じていますか。
	1+2の差: 17.2ポイント		1+2の差: 4.9ポイント
(8)	授業中、ペア学習や班学習など、子ども同士が協力して取り組む活動を取り入れていますか。	(17)	問題行動を起こす子どもや不登校傾向の子どもへの指導・助言等について、学年団の教員、生徒指導担当、管理職等と相談することについて、どのように感じていますか。
	1+2の差: 15.1ポイント		1+2の差: 4.2ポイント
(2)	家庭での学習に生かせるノートの書き方、まとめ方を具体的に指導していますか。	(16)	子どもが、お互いの個性を尊重したり相手のよさを見つけていこうとしたりする集団づくりに努めることについて、どのように感じていますか。
	1+2の差: 12.9ポイント		1+2の差: 2.0ポイント

◆中学校の回答率(回答1+回答2)が高いもの(差が大きいもの3項目)

質問A (中学校-小学校)		質問B (中学校-小学校)	
(11)	自らの生き方や将来について、キャリア教育の視点を意識した活動を実施していますか。	(5)	課題やまとめをわかりやすく板書することについて、どのように感じていますか。
	1+2の差: 13.4ポイント		1+2の差: 16.8ポイント
(9)	授業や年間指導計画において、指導と評価の一体化に取り組んでいますか。	(11)	自らの生き方や将来について、キャリア教育の視点を意識した活動をさせることについて、どのように感じていますか。
	1+2の差: 5.9ポイント		1+2の差: 13.7ポイント
(14)	特別活動の時間などで子どもが主体的に活動できる場を設けていますか。	(2)	家庭での学習に生かせるノートの書き方、まとめ方を具体的に指導をすることについて、どのように感じていますか。
	1+2の差: 0.7ポイント		1+2の差: 12.3ポイント

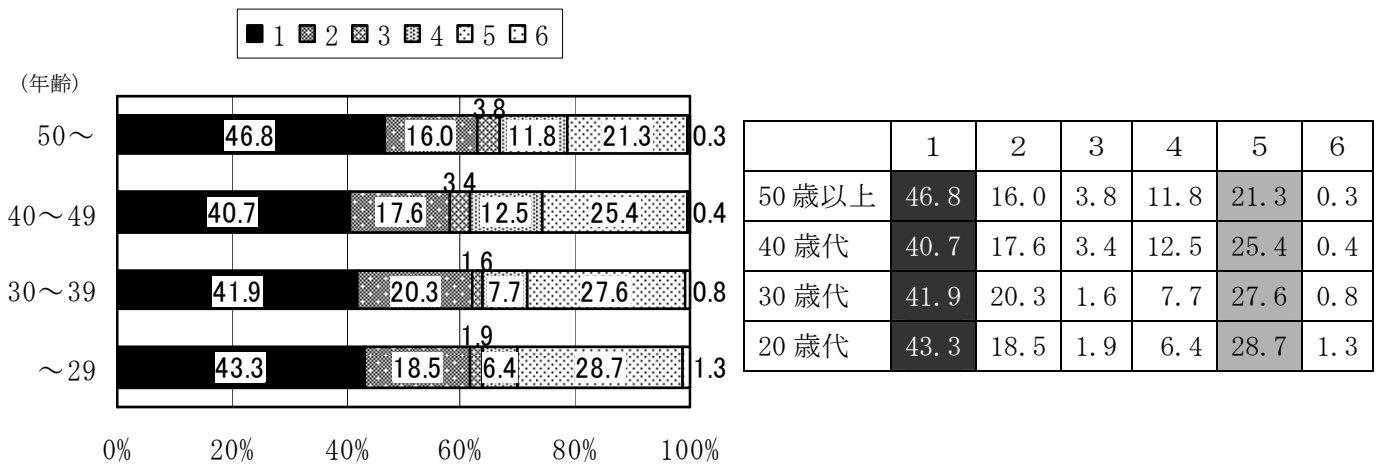
2 指導力向上に関わること（年齢別、小・中学校別クロス集計）

(1) 子どもの学力向上のために取り組む必要があると考えていることは、どのようなことですか。重要と考えている順に3つ書いてください。

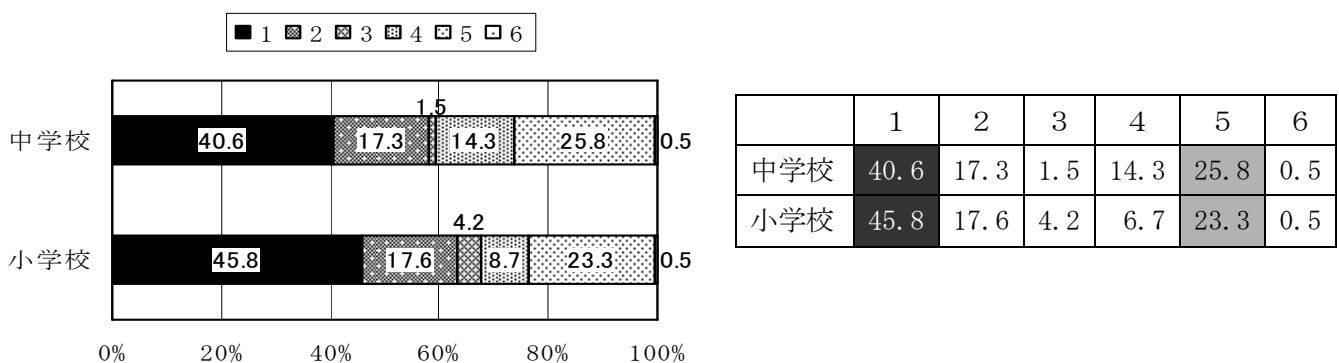
- 1 基礎的・基本的な学習内容の定着
- 2 学習意欲を高めるための工夫
- 3 思考力・判断力・表現力の育成
- 4 学習習慣の確立
- 5 落ち着いた学習に取り組める学級集団づくり
- 6 家庭との連携

<最も重要と考えているもの>

【年齢別クロス集計】



【小・中学校別クロス集計】



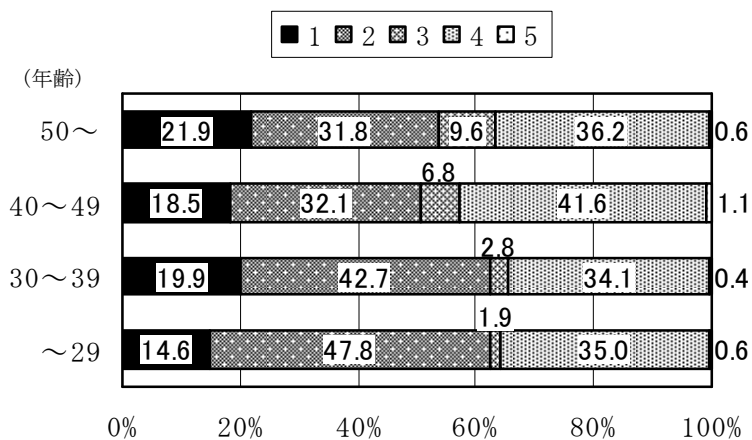
○年齢や校種を問わず、最も重要と考えているものは、「基礎的・基本的な学習内容の定着」が最も高い。2番目に高いのは、「落ち着いた学習に取り組める学級集団づくり」である。

(2) 子どもの学力向上のために教員が身に付ける必要がある資質・能力は、どのようなものですか。
重要と考えている順に3つ書いてください。

- 1 教材や教具を開発する力
- 2 板書や指名の仕方、発言の取り上げ方などの授業スキル
- 3 効果的・効率的な評価による授業改善する力
- 4 子どものつまずき等を把握し、適切に関わる力
- 5 保護者に対して適切に対応する力

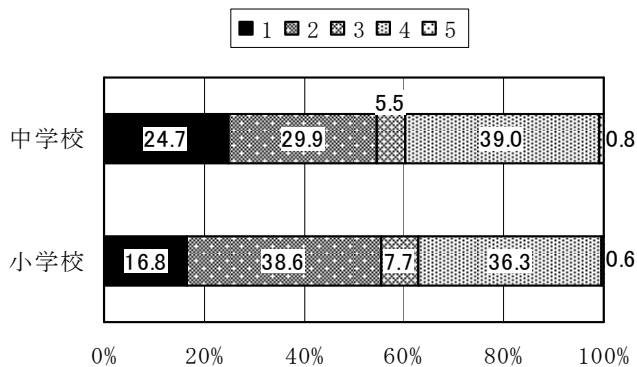
<最も重要と考えているもの>

【年齢別クロス集計】



	1	2	3	4	5
50歳以上	21.9	31.8	9.6	36.2	0.6
40歳代	18.5	32.1	6.8	41.6	1.1
30歳代	19.9	42.7	2.8	34.1	0.4
20歳代	14.6	47.8	1.9	35.0	0.6

【小・中学校別クロス集計】



	1	2	3	4	5
中学校	24.7	29.9	5.5	39.0	0.8
小学校	16.8	38.6	7.7	36.3	0.6

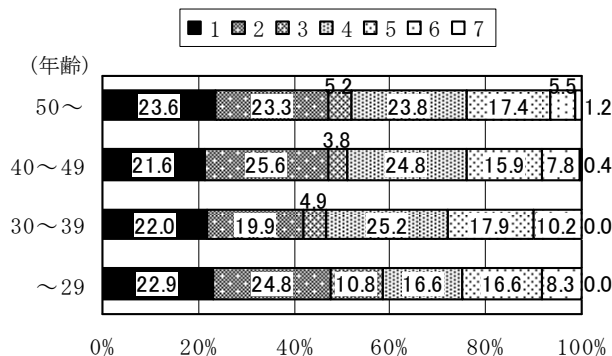
- 年齢が低くなるほど、「板書や指名の仕方、発言の取り上げ方などの授業スキル」を選択した教員の割合が高くなる。
- 中学校では「子どものつまずき等を把握し、適切に関わる力」を選択した教員の割合が最も高く、小学校では「板書や指名の仕方、発言の取り上げ方などの授業スキル」を選択した教員の割合が最も高い。

(3) 生徒指導を進める上で、現在課題と考えているのはどのようなことですか。課題と考えている順に3つ書いてください。

- 1 子どもの基本的な生活習慣の確立
- 2 支持的風土のある温かい学級や集団づくり
- 3 授業規律の確立
- 4 規範意識の醸成
- 5 感情をコントロールできない子ども等への対応
- 6 保護者への対応、保護者との協力
- 7 小小連携、小中連携

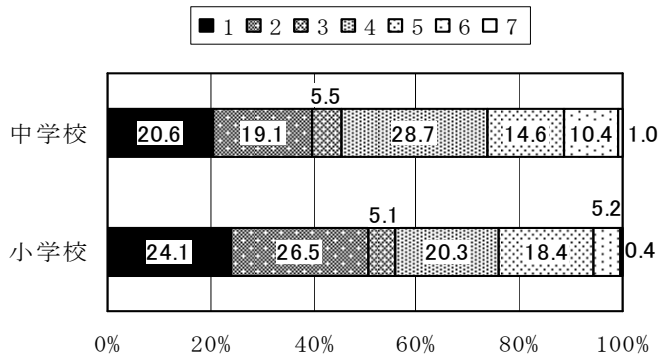
<最も重要と考えているもの>

【年齢別クロス集計】



	1	2	3	4	5	6	7
50歳以上	23.6	23.3	5.2	23.8	17.4	5.5	1.2
40歳代	21.6	25.6	3.8	24.8	15.9	7.8	0.4
30歳代	22.0	19.9	4.9	25.2	17.9	10.2	0.0
20歳代	22.9	24.8	10.8	16.6	16.6	8.3	0.0

【小・中学校別クロス集計】



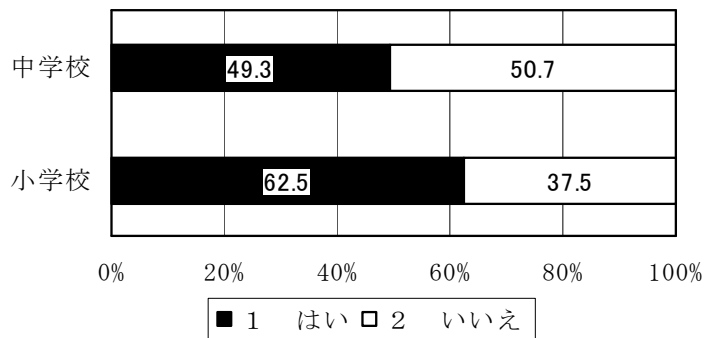
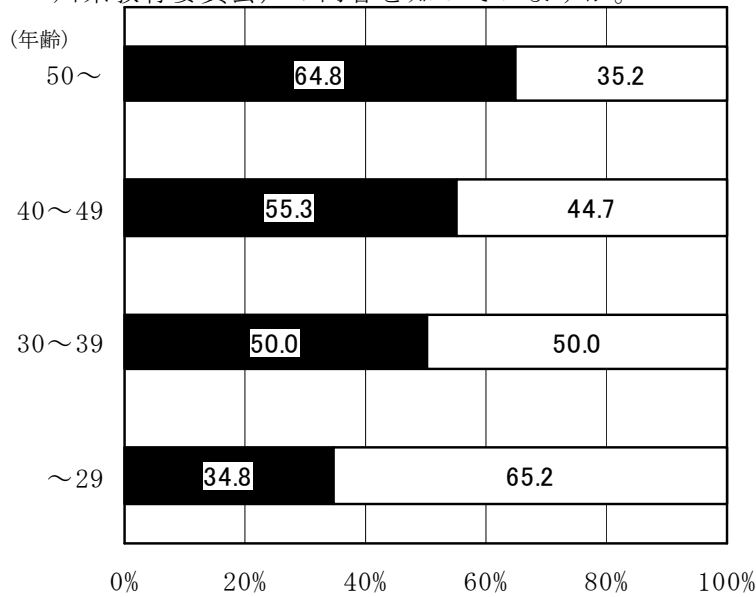
	1	2	3	4	5	6	7
中学校	20.6	19.1	5.5	28.7	14.6	10.4	1.0
小学校	24.1	26.5	5.1	20.3	18.4	5.2	0.4

○20歳代及び40歳代の教員が最も重要と考えているのは、「支持的風土のある温かい学級や集団づくり」であり、30歳代及び50歳以上の教員が最も重要と考えているのは、「規範意識の醸成」である。

○中学校では「規範意識の醸成」を選択した教員の割合が最も高く、小学校では「支持的風土のある温かい学級や集団づくり」を選択した教員の割合が最も高い。

3 業務改善に関わること（年齢別、小・中学校別クロス集計）

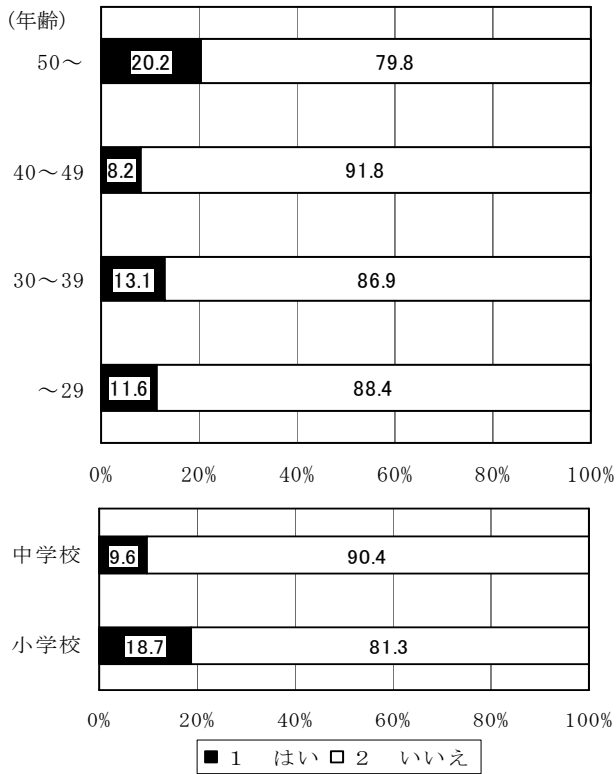
7 (1) 平成24年3月に配布されたリーフレット「子どもと向き合う時間を確保し教育活動を充実するために」（香川県教育委員会）の内容を知っていますか。



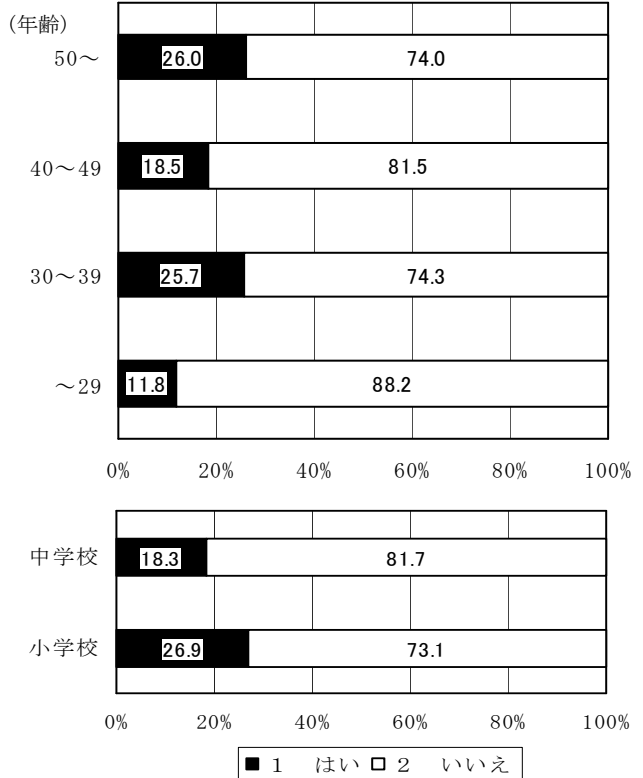
- 年齢が高くなるほど、リーフレットの内容を知っていると回答した教員の割合が高くなる。
- リーフレットの内容を知っていると回答した教員の割合は、小学校が中学校よりも高い。

4 子どもの学ぶ姿勢を育む事業について（年齢別、小・中学校別クロス集計）

8 (1) 義務教育課が平成24年6月にCDで配布した「補充・発展プリント」を活用していますか。



8 (2) 義務教育課が平成24年3月に配布したリーフレット「学び方シート」等を活用していますか。



○年齢や校種を問わず、活用していると回答した教員の割合は、10～30%程度である。

